

## 第Ⅲ部 調査結果の詳細



# 第1章 「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」について

## 1 各戦略の施策に関連する事柄についての満足度（問1）

プランの各施策に関連する事柄について、満足度を5「十分」～1「不十分」の5段階で質問した。

### (1) 戦略1 秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略について

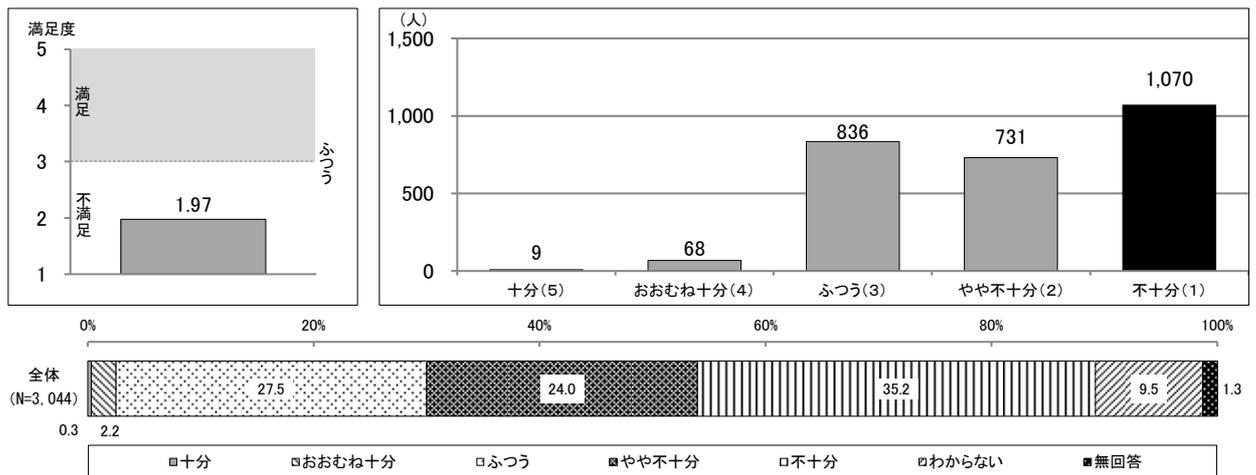
#### ア 社会減の抑制に向けた雇用の場の創出、人材育成・確保

問1-1 若者にとって魅力的な働く場が確保されている。

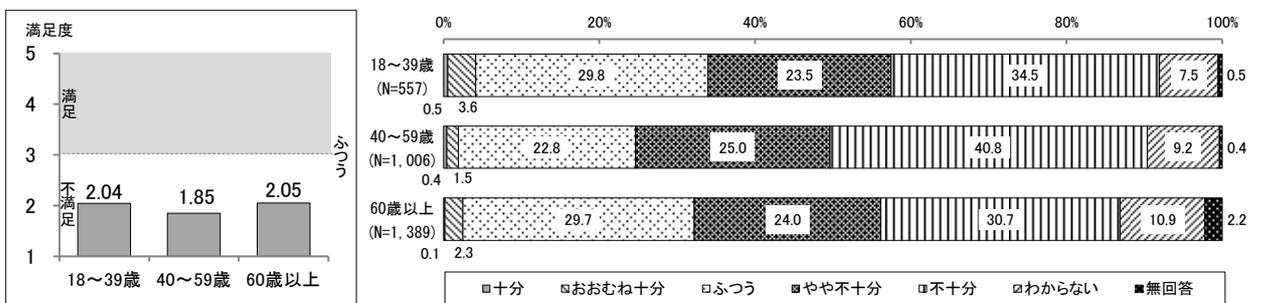
#### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は1.97で、「ふつう」の3より1.03低かった。回答では「不十分」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は2.5%、「ふつう」は27.5%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は59.2%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は30.0%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度が最も高く2.05であり、不満を感じていない人の割合は32.1%であった。一方、「40～59歳」の満足度は1.85であり、不満を感じていない人の割合は24.7%であった。



## (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,801人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、742人(41.2%)から回答があった。

### 回答の一部

- まだまだ就職口は少ないと思います。起業の推進や県外企業の誘致などを進めていく必要があると思います。(男性/40歳代/秋田地域)
- 若者の働く場所が少ない。働く場所が無いのでやむをえず県外に就職する人が多い。(男性/70歳以上/秋田地域)
- 賃金が低く、福利厚生が整っていない職場が多いと思う。中小企業も大変と思うが、将来の事を考えると、首都圏に行ってしまうと思う。(女性/50歳代/秋田地域)

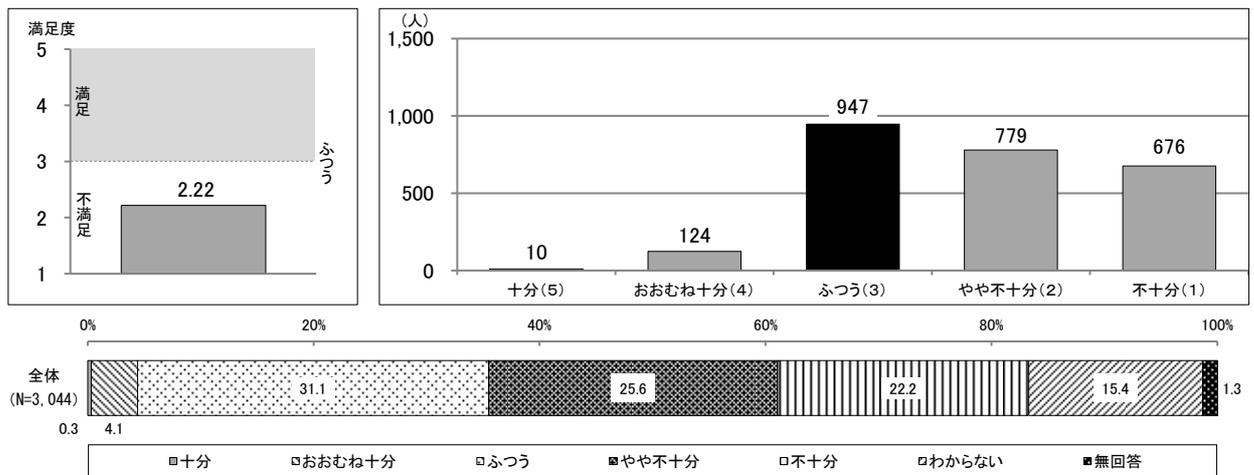
## イ 若者の県内定着・回帰と移住の促進による秋田への人の流れづくり

### 問 1-2 高校生や大学生の県内就職が進んでいる。

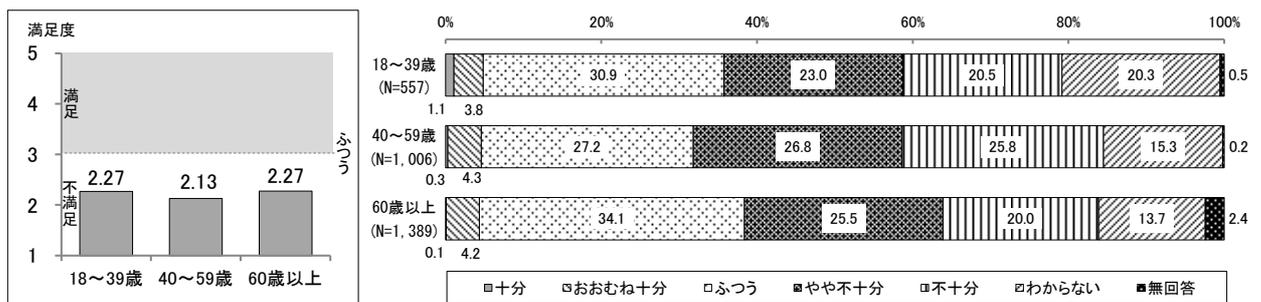
#### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.22で、「ふつう」の3より0.78低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は4.4%、「ふつう」は31.1%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は47.8%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は35.5%であった。



年代別では、「18～39歳」及び「60歳以上」の満足度が最も高く2.27であり、不満を感じていない人の割合はそれぞれ35.8%、38.4%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.13であり、不満を感じていない人の割合は31.8%であった。



#### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,455人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、458人(31.5%)から回答があった。

##### 回答の一部

- 進学で県外に行ってしまうと、地元での就職は考えないと思う。(女性/50歳代/山本地域)
- 努力してきているのは感じますが、学生を活かせる企業が少なく、賃金が低く福利厚生面が充実していない企業が多いです。頑張っている企業は、もっと県民に知名度をアピールしてほしい。(女性/60歳代/仙北地域)
- 県外のほうが、職種の幅も広く、多く稼ぐ人が多いイメージ。県内でも活躍し、稼げることを知れる場が増えるといい。(男性/30歳代/秋田地域)

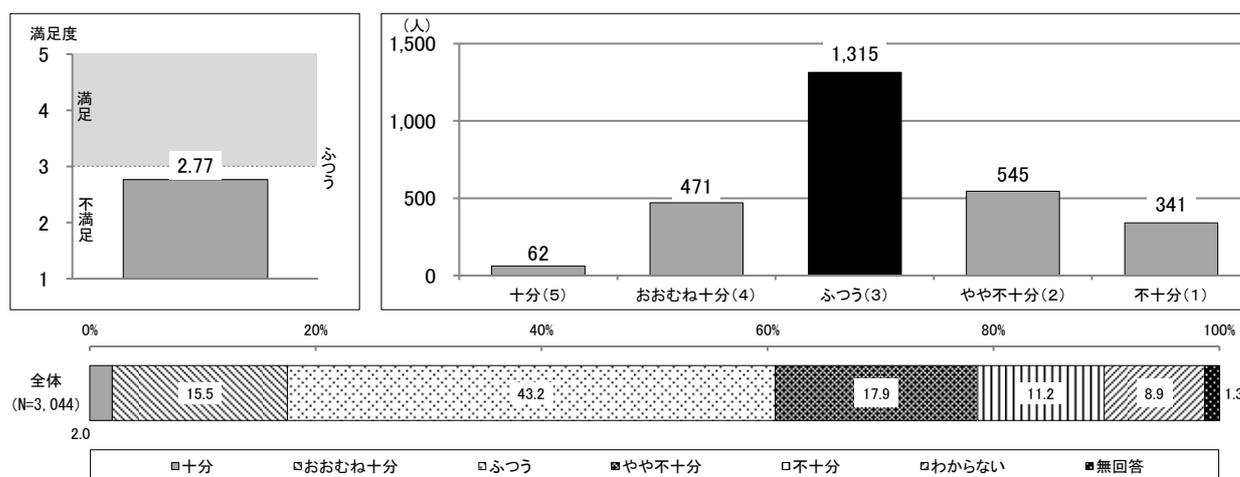
## ウ 結婚や出産、子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート

### 問1-3 安心して子育てができる社会になっている。

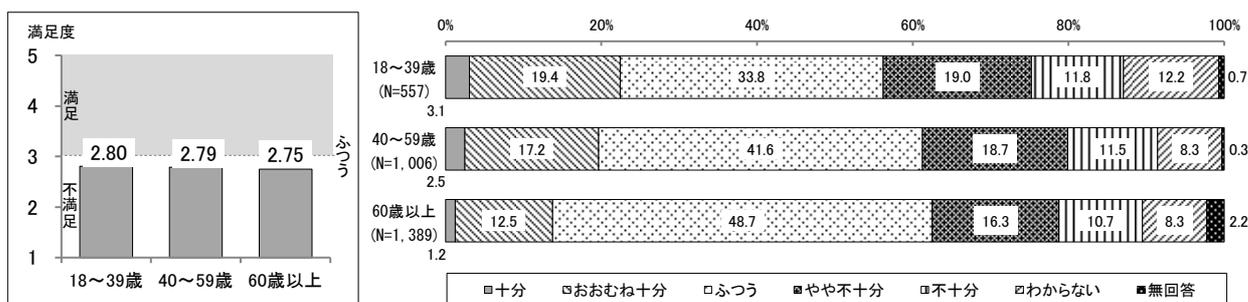
#### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.77で、「ふつう」の3より0.23低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は17.5%、「ふつう」は43.2%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は29.1%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は60.7%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く2.80であり、不満を感じていない人の割合は56.3%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.75であり、不満を感じていない人の割合は62.4%であった。



#### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した886人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、248人（28.0%）から回答があった。

##### 回答の一部

- 子どもが遊んだり、学んだりできる施設が少ないと思う。(女性/30歳代/秋田地域)
- 子どもを産み育てるには、対象者への経済的支援と併せて、経済団体（特に中小企業）の理解と協力が必要と考えます。県のサポートを望みます。(男性/70歳以上/秋田地域)
- 経済面で負担を軽くするような支援を今以上に増やす。(女性/50歳代/仙北地域)

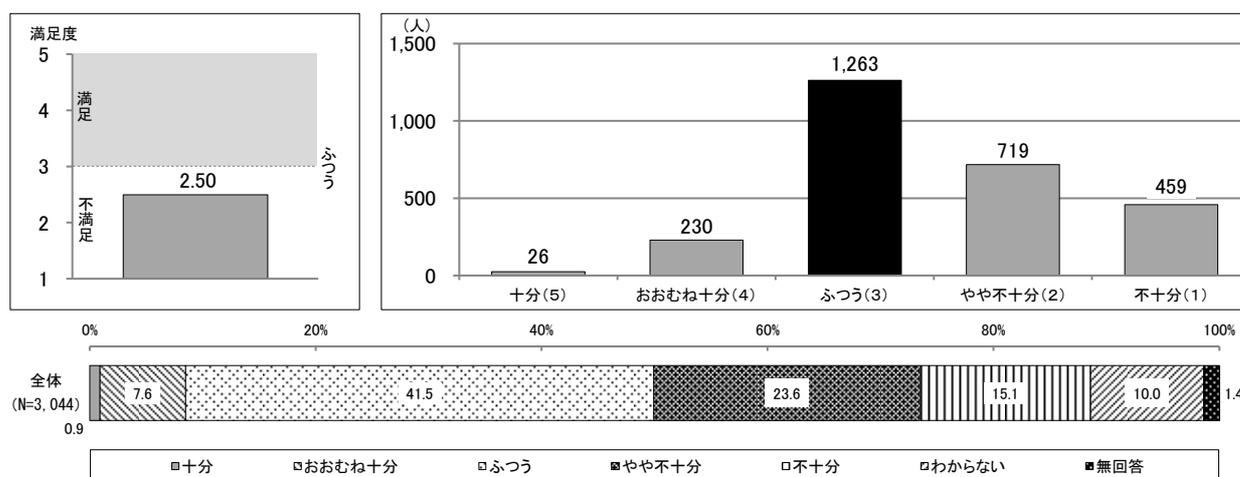
## エ 女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現

### 問1-4 女性や若者が職場や地域で生き生きと活躍できる社会になっている。

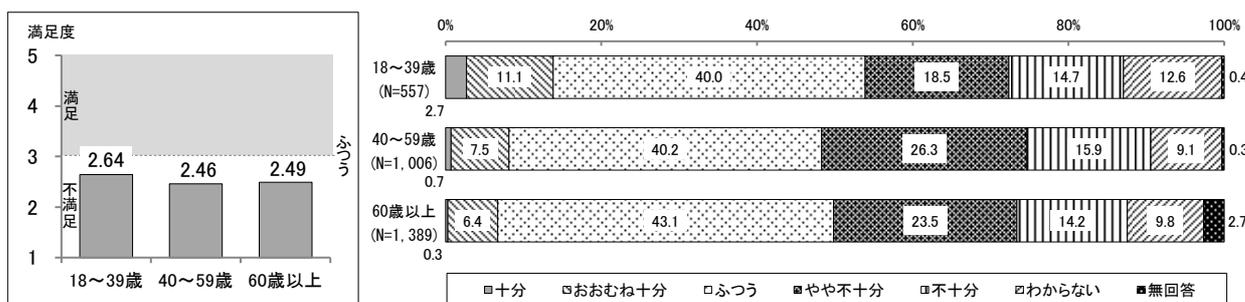
#### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.50で、「ふつう」の3より0.50低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は8.5%、「ふつう」は41.5%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は38.7%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は50.0%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く2.64であり、不満を感じていない人の割合は53.8%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.46であり、不満を感じていない人の割合は48.4%であった。



#### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,178人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、302人(25.6%)から回答があった。

##### 回答の一部

- 若者が働きたいと思う企業が少ないのではないかと。子供がいると仕事を急に休んだりしなければいけないが、まだまだ女性には優しくない気がする。(女性/30歳代/北秋田地域)
- 女性だけが家事・育児と仕事の両立をする必要がある社会ではなく、男性も協力できるよう、各職場での理解と、働き方の改革がさらに必要。(女性/40歳代/北秋田地域)
- 若者が自由に発言できる社会の雰囲気できていない。「昔はこうだった」と昭和世代を押し付けず社会人として育ててほしい。(女性/50歳代/仙北地域)

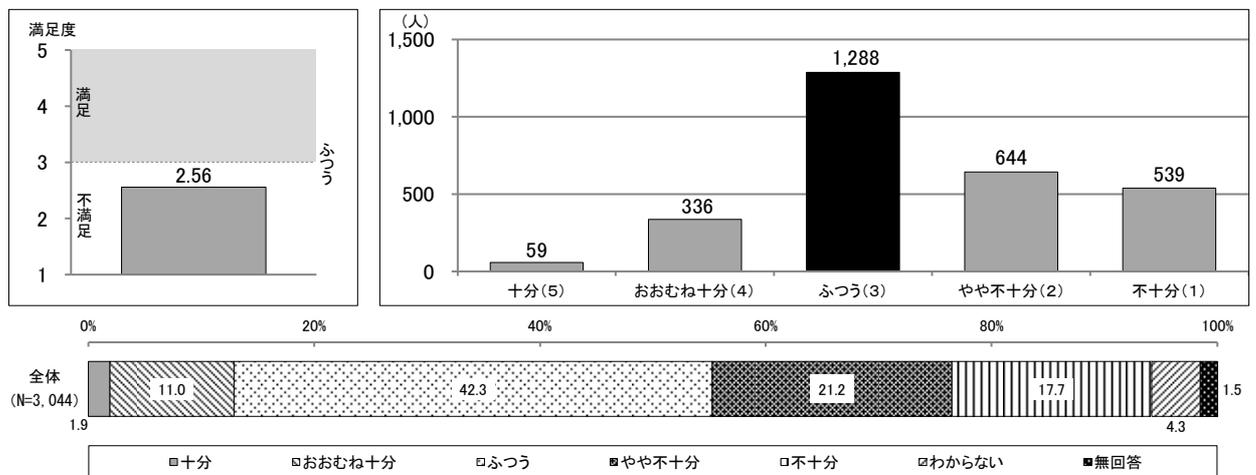
## オ 活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくり

問 1-5 地域交通や買い物サービスなどの日常生活に必要な機能が維持され、安心して生き生きと生活できる地域社会になっている。

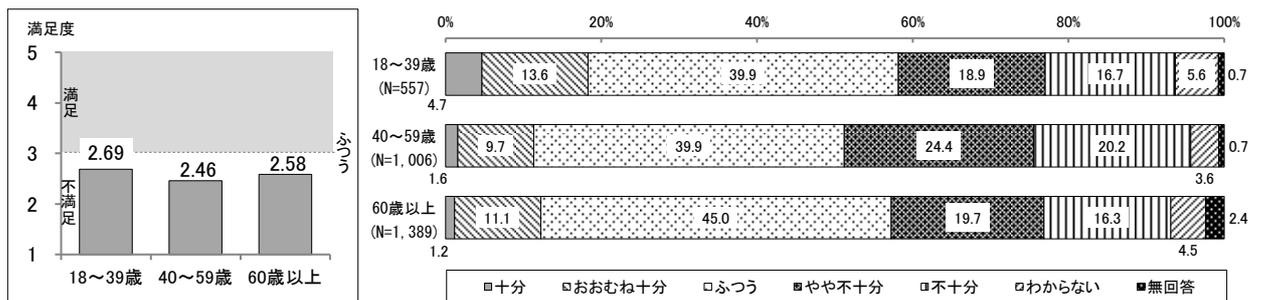
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.56で、「ふつう」の3より0.44低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は12.9%、「ふつう」は42.3%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は38.9%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は55.2%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く2.69であり、不満を感じていない人の割合は58.2%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.46であり、不満を感じていない人の割合は51.2%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,183人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、417人(35.2%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 過疎化が進んでいるところでは、車を運転できない人が移動に困っている。コミュニティバスの充実や個人の車両を借り上げての送迎などを行ってほしい。(男性/60歳代/秋田地域)
- 地域の公共交通機関が減少したことで地域間の交流が少なくなった。また、住民の高齢化が進んだため地域活動が少なくなった。(男性/70歳以上/山本地域)
- 高齢化が進み、買い物弱者が増えているので、地域全体で対策を考える必要がある。県の支援、補助が必要。(男性/70歳以上/北秋田地域)

(2) 戦略2 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略について

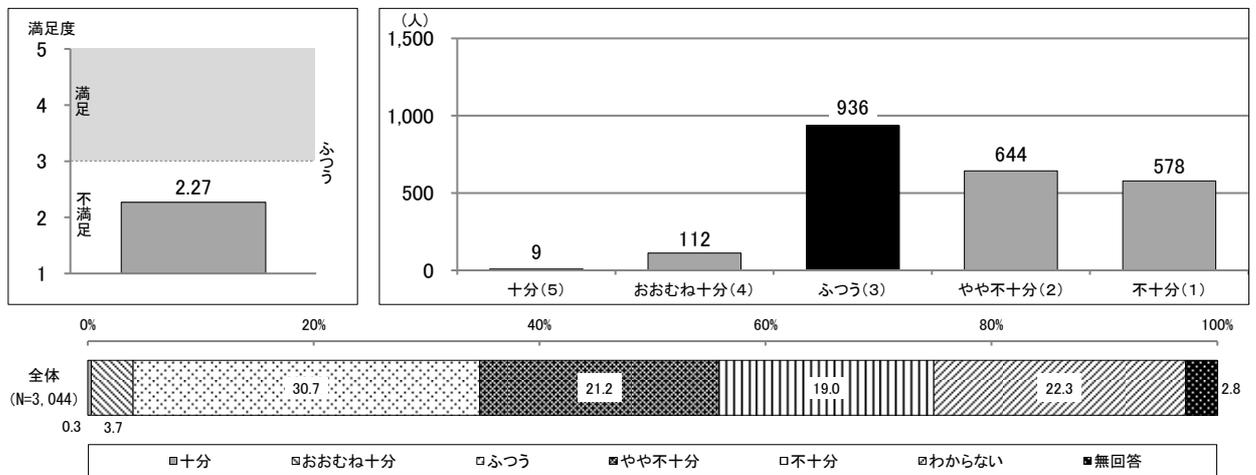
ア 成長分野の競争力強化と中核企業の創出・育成

問 1-6 地域経済を牽引することができる競争力を持った企業が増えている。

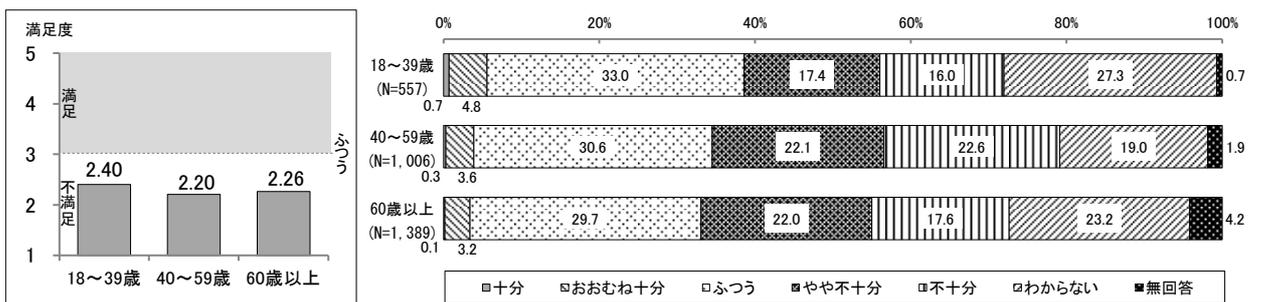
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.27で、「ふつう」の3より0.73低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は4.0%、「ふつう」は30.7%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は40.2%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は34.7%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く2.40であり、不満を感じていない人の割合は38.5%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.20であり、不満を感じていない人の割合は34.5%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,222人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、280人(22.9%)から回答があった。

回答の一部

- 大手医療機器メーカーなどで仕事についている若者は多いが、まだまだ他分野などの企業が足りない。(男性/70歳以上/北秋田地域)
- 地域経済を牽引することができる競争力を持った企業はまだ少ないと思う。そもそも県央に集中しているので、県南、県北地域だとそれほど感じられない。(男性/50歳代/仙北地域)
- 競争力を持つ企業はあるが、特定の企業に偏っていて、力のある企業が増えているとはいえないと感じる。(女性/40歳代/仙北地域)

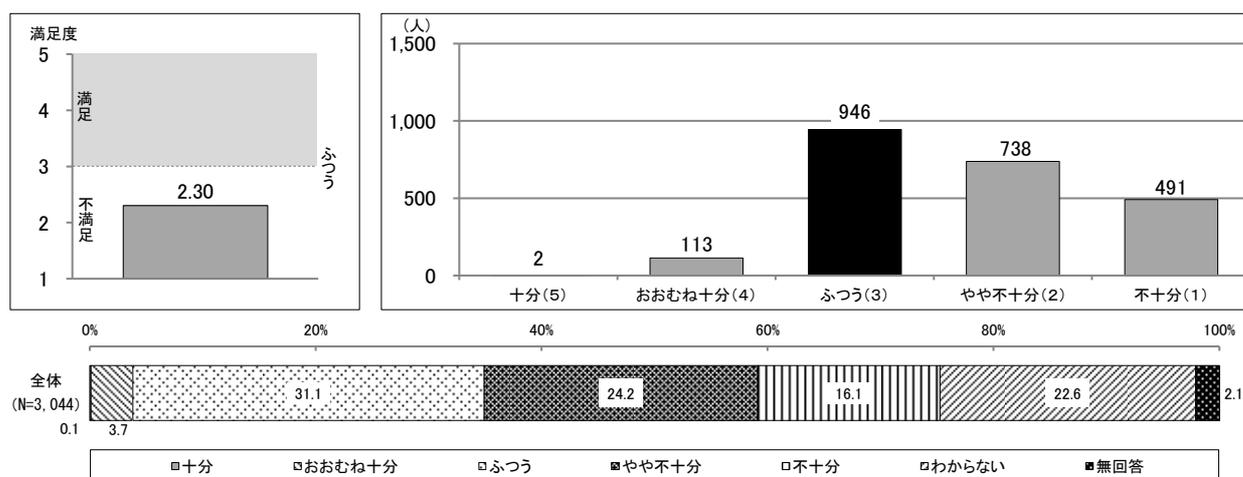
## イ 中小企業・小規模企業者の活性化と生産性向上

### 問1-7 中小企業の安定した経営が確保されている。

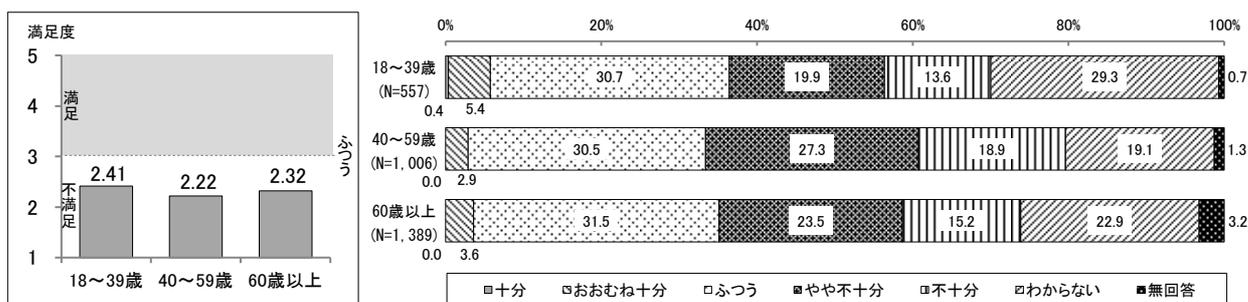
#### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.30で、「ふつう」の3より0.70低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は3.8%、「ふつう」は31.1%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は40.3%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は34.9%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く2.41であり、不満を感じていない人の割合は36.5%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.22であり、不満を感じていない人の割合は33.4%であった。



#### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,229人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、235人(19.1%)から回答があった。

##### 回答の一部

- 後継者の育成が進んでいない。これは秋田の産業全体に感じられる。(男性/60歳代/秋田地域)
- 新型コロナウイルスの影響が大きく、休業している企業が多々ある。(男性/50歳代/仙北地域)
- 余裕のある経営をしている企業はごくわずかだと思う。何かあれば経営が苦しくなる会社がたくさんあると思う。(女性/50歳代/平鹿地域)

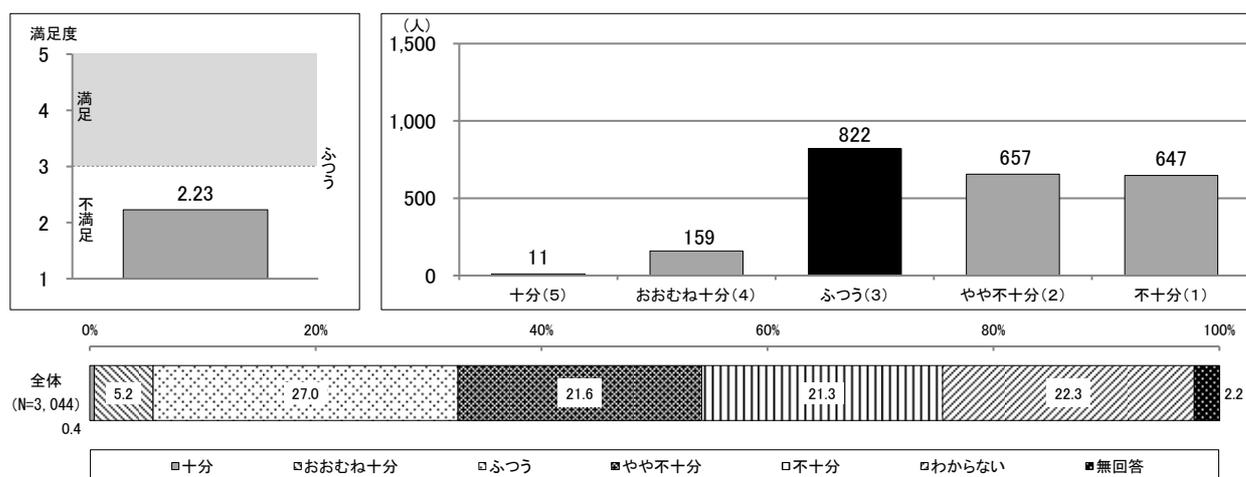
## ウ 国内外の成長市場の取り込みと投資の促進

### 問 1-8 企業誘致が進んでいる。

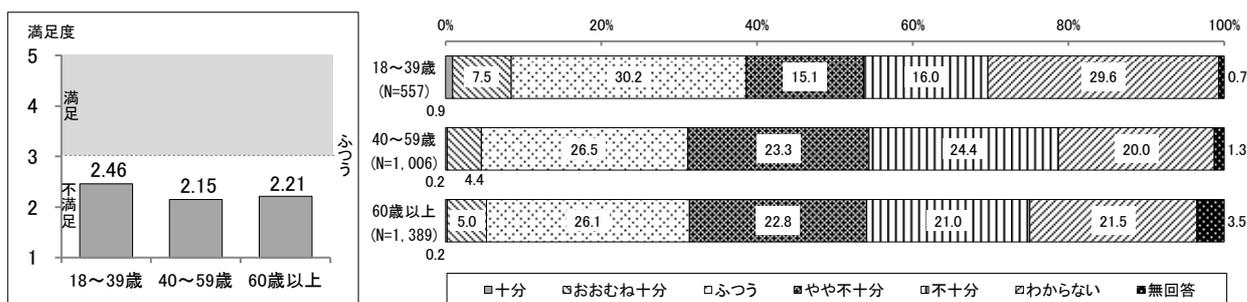
#### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.23で、「ふつう」の3より0.77低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は5.6%、「ふつう」は27.0%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は42.9%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は32.6%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く2.46であり、不満を感じていない人の割合は38.6%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.15であり、不満を感じていない人の割合は31.1%であった。



#### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,304人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、285人(21.9%)から回答があった。

##### 回答の一部

- 企業誘致のために、県内あらゆる所に工業団地を造成したが、ほとんどが空地となっている。(男性/40歳代/秋田地域)
- もう少し大型の企業誘致をして大規模な雇用を望む。(男性/60歳代/秋田地域)
- 企業誘致は、秋田市には増えているかもしれないが、その他の地域はまだまだだと思う。(女性/50歳代/仙北地域)

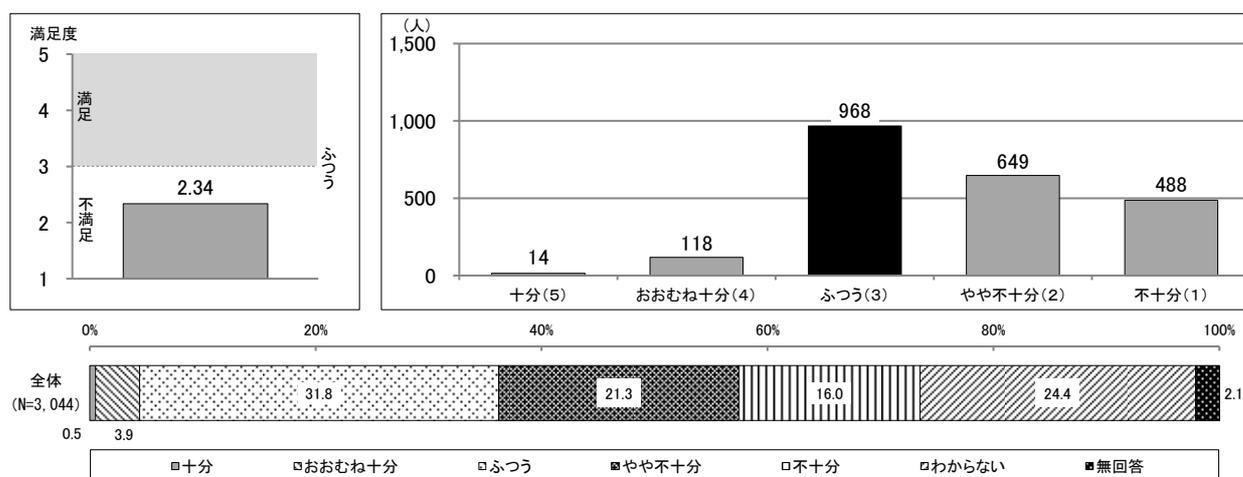
## エ 産業人材の確保・育成と働きやすい環境の整備

### 問 1-9 産業人材の確保・育成が進んでいる。

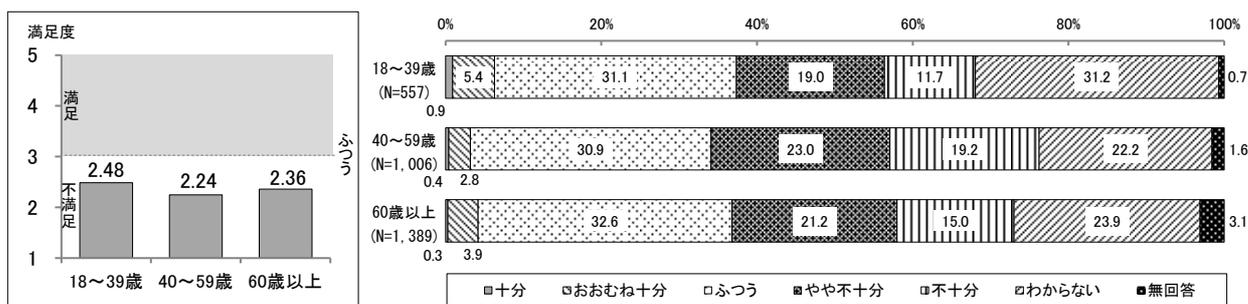
#### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.34で、「ふつう」の3より0.66低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は4.4%、「ふつう」は31.8%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は37.3%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は36.2%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く2.48であり、不満を感じていない人の割合は37.4%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.24であり、不満を感じていない人の割合は34.1%であった。



#### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,137人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、191人(16.8%)から回答があった。

##### 回答の一部

- 優秀な人材が流出、もしくは地元、地域に帰ってこない。外で育成されそのまま外で活躍しているのが問題。(性別不明/年代不明/居住地域不明)
- 優秀な人材はやはり県外に出る人が多く、県内に残る優秀な人材が少ない中で、自社内での人材育成が一番大切なことと思いますが、中小企業にとってそのような余裕と部署等を置くのは、現実には無理だと思います。(男性/50歳代/北秋田地域)
- 専門的な知識を学べる場所が少ない。これでは若者定着に繋がらないと思う。現存の学校で学べる種類を増やすとか、新たに開設してあげたりすることが必要だと思う。(女性/20歳代/平鹿地域)

### (3) 戦略3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略について

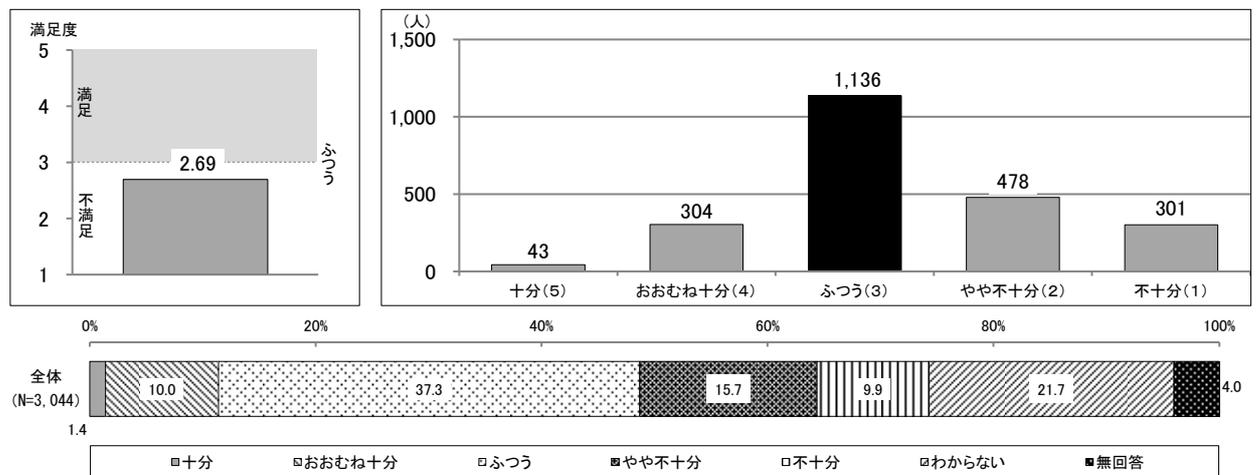
#### ア 秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成

問1-10 農林水産業で働く人が、地域で元気に活躍している。

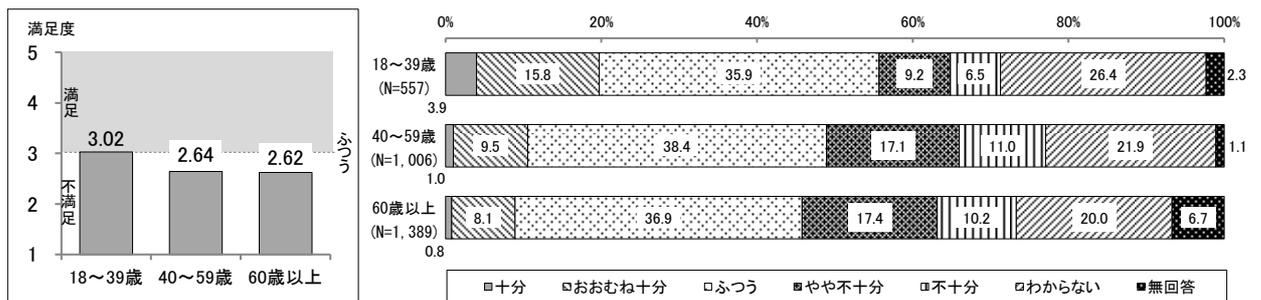
##### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.69で、「ふつう」の3より0.31低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は11.4%、「ふつう」は37.3%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は25.6%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は48.7%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.02であり、不満を感じていない人の割合は55.6%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.62であり、不満を感じていない人の割合は45.8%であった。



##### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した779人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、250人(32.1%)から回答があった。

###### 回答の一部

- 高齢化により後継者がいない。(女性/70歳以上/由利地域)
- 若者が農業でもっと働ける環境や組織を整えてほしい。また、学校教育の中で、早くから農業の魅力や秋田の農業に触れたり学んだりする機会を増やしてほしい。そうすることで、若者の意識が変わっていくのではないだろうか。(女性/50歳代/秋田地域)
- 農業県と言われる本県で、米づくりで採算が取れないと言う声を良く聞き、林業、水産業も盛んであるとは思えない。このような状況で元気で活躍しているとは言えない。(女性/70歳以上/秋田地域)

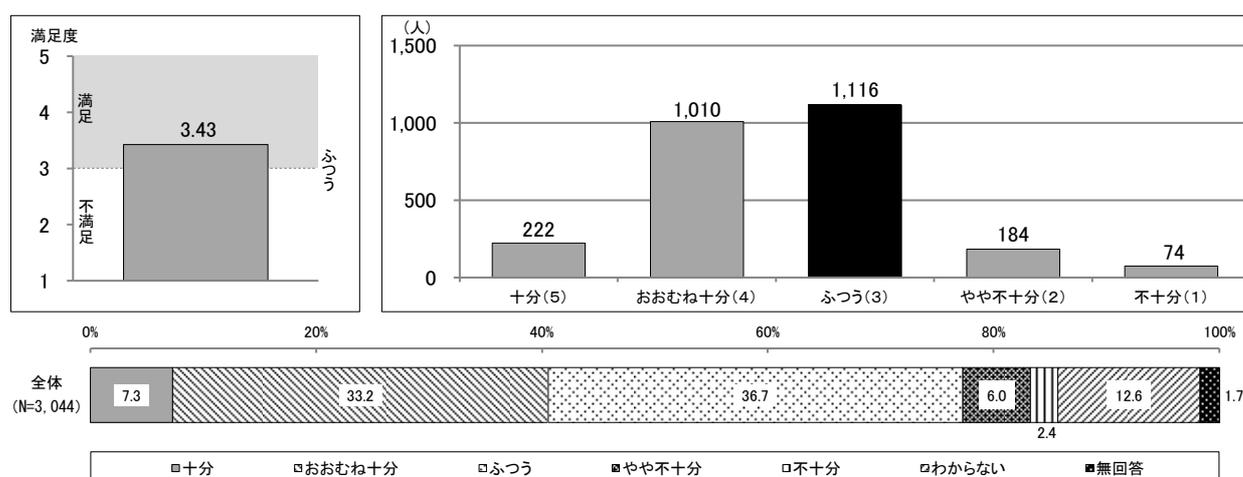
## イ 複合型生産構造への転換の加速化

問1-11 えだまめ、ねぎ、しいたけ、キク、秋田牛などの生産が盛んに行われている。

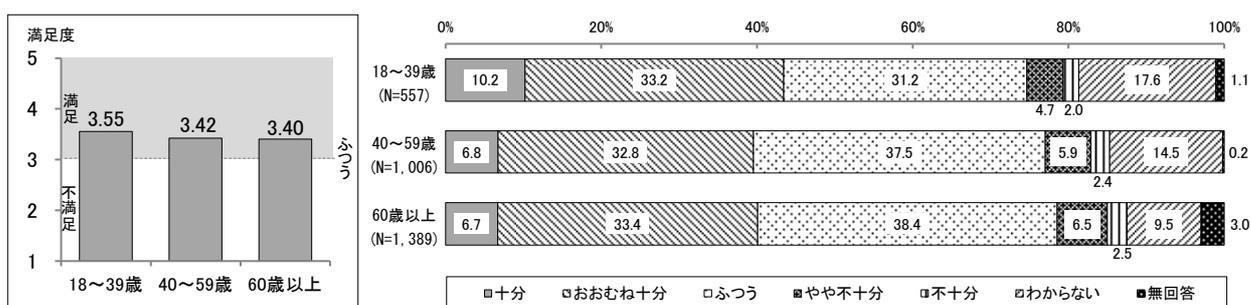
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は3.43で、「ふつう」の3より0.43高かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は40.5%、「ふつう」は36.7%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は8.4%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は77.2%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.55であり、不満を感じていない人の割合は74.6%であった。一方、「60歳以上」の満足度は3.40であり、不満を感じていない人の割合は78.5%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した258人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、84人(32.6%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 生産も重要だが、販売はもっと重要。ここをどうするのか。秋田の場合は、売り込みが下手。(男性/60歳代/秋田地域)
- 県内のニュース等から、最近野菜づくりでだいぶ頑張っていると感じているが、果たして首都圏でどれほど秋田県の野菜や牛肉が認知されているか疑問である。もっと秋田の食材をアピールして認知度を高める必要があるのではないかと。(男性/60歳代/秋田地域)
- 県内の人にもっと周知することで県外へも広まっていくと思う。(男性/30歳代/秋田地域)

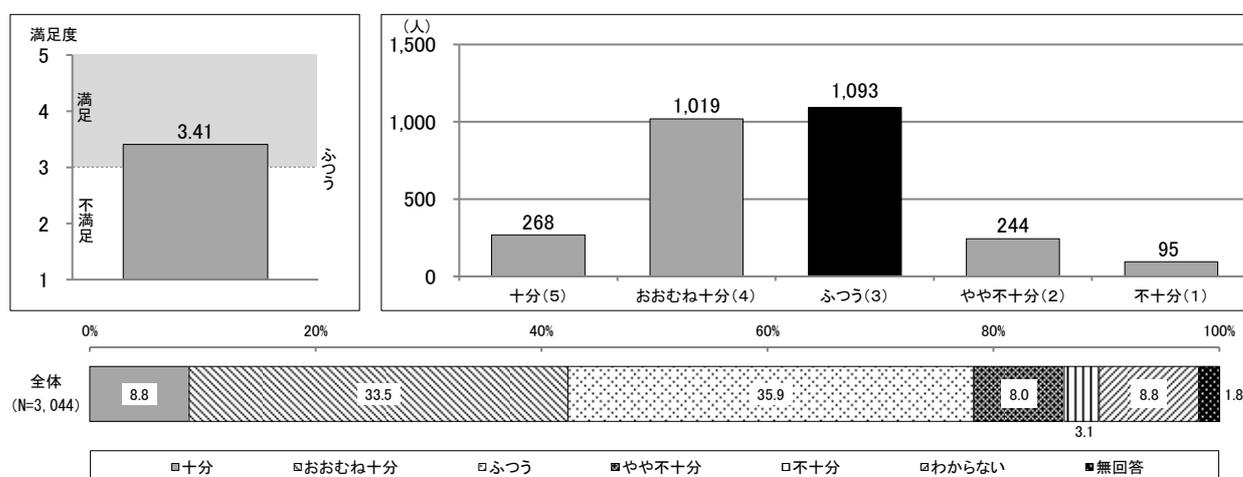
## ウ 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用

問 1-12 あきたこまちをはじめ、全国の産地間競争に打ち勝つ米づくりが盛んに行われている。

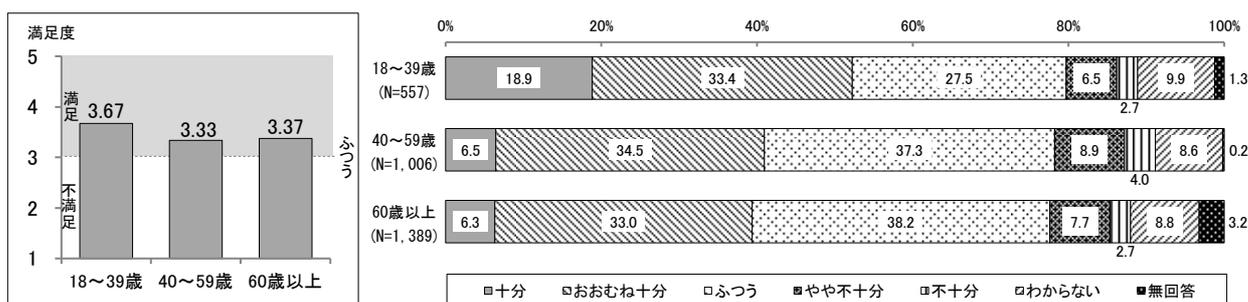
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は3.41で、「ふつう」の3より0.41高かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は42.3%、「ふつう」は35.9%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は11.1%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は78.2%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.67であり、不満を感じていない人の割合は79.8%であった。一方、「40～59歳」の満足度は3.33であり、不満を感じていない人の割合は78.3%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した339人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、123人(36.3%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 他県に比べ、品種や銘柄が少ない。同銘柄でも品質にバラツキがある。(男性/60歳代/秋田地域)
- 隣県の青森、山形などに比べて相当遅れている。あきたこまちに頼りすぎ。今年になってやっと新しい品種が出てきたが、これが全国的なブランドになれるのか、すべて県のPR戦略次第。(男性/70歳代/北秋田地域)
- 間もなく期待の新品種「秋系821」がデビューするが、産地間競争に打ち勝つためにも良質の米を生産し、大々的に秋田米をアピールするべきである。(男性/60歳代/秋田地域)

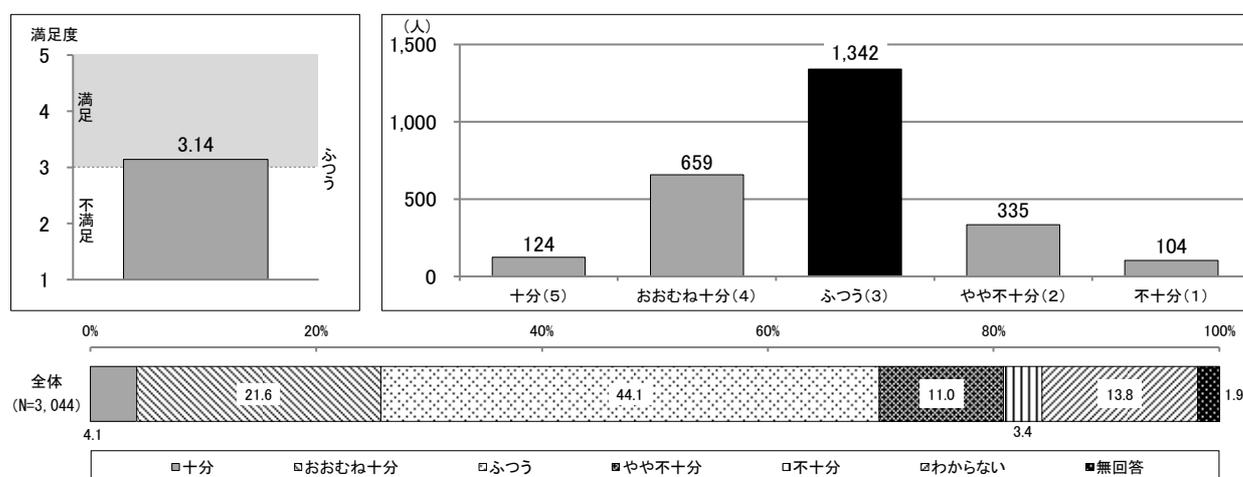
## エ 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化

問 1-13 飲料や発酵食品など、県産の農林水産物を生かした加工品づくりや販売が盛んに行われている。

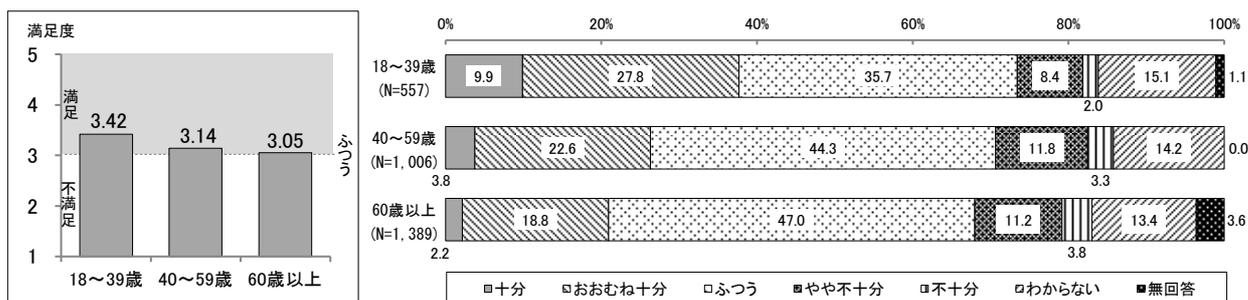
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は3.14で、「ふつう」の3より0.14高かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は25.7%、「ふつう」は44.1%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は14.4%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は69.8%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.42であり、不満を感じていない人の割合は73.4%であった。一方、「60歳以上」の満足度は3.05であり、不満を感じていない人の割合は68.0%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した439人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、103人(23.5%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 県産品のポテンシャルは非常に高く、加工品づくりも盛んに行われていると思いますが、PR不足だと思います。SNSや動画サイトを有効に使って宣伝してほしい。(男性/30歳代/由利地域)
- いい食材が多いので、もっと全国的な企業とコラボする等すれば知名度をあげられると思う。もったいない感じがする。(女性/30歳代/鹿角地域)
- 県内の加工品がなかなか身近に感じられない。地元のスーパー等で見つけづらい印象を受ける。(女性/50歳代/秋田地域)

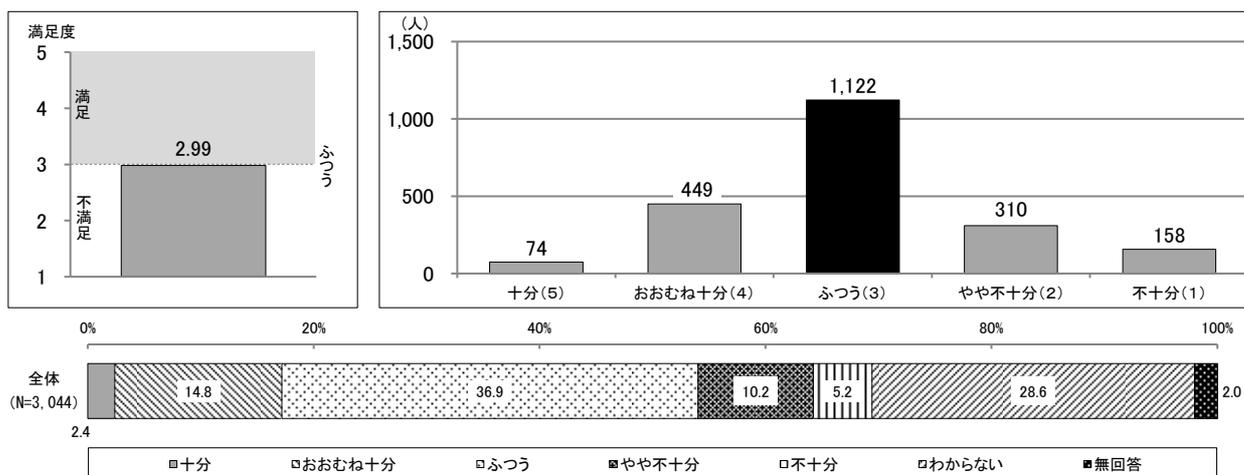
## オ 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化

問1-14 秋田スギ丸太の生産量が増大し、県産材の利用が進んでいる。

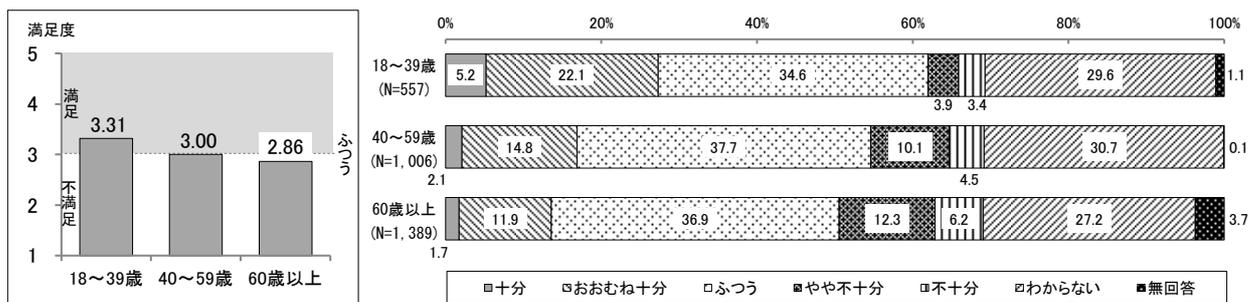
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.99で、「ふつう」の3より0.01低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は17.2%、「ふつう」は36.9%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は15.4%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は54.1%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.31であり、不満を感じていない人の割合は61.9%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.86であり、不満を感じていない人の割合は50.5%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した468人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、91人(19.4%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 県や市、国の事業では建築建材として利用されているが、対個人では安い輸入材が多く使われている。もっと個人での利用を促すべき。(男性/40歳代/秋田地域)
- 国立競技場建設の一部に秋田スギを使用したと聞いているが、一過性にならずに継続的に建築資材として使用されるよう、大手建築会社と連携を図り販売体制を構築すべきである。(男性/60歳代/秋田地域)
- 荒廃しかけている山林も見かける。手入れをきちんとすればもっと良い木材が多く生産でき、値段も下がるのではないかと。(女性/60歳代/由利地域)

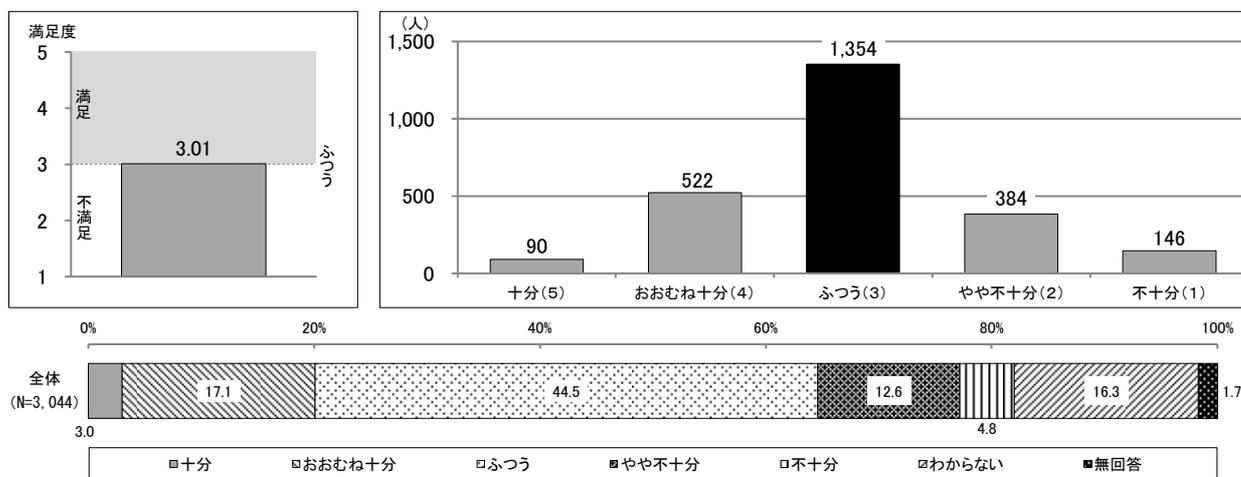
## カ つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興

問1-15 ハタハタ、マダイ、ヒラメ、サケなど、県内で獲れた多様な魚が流通・販売されている。

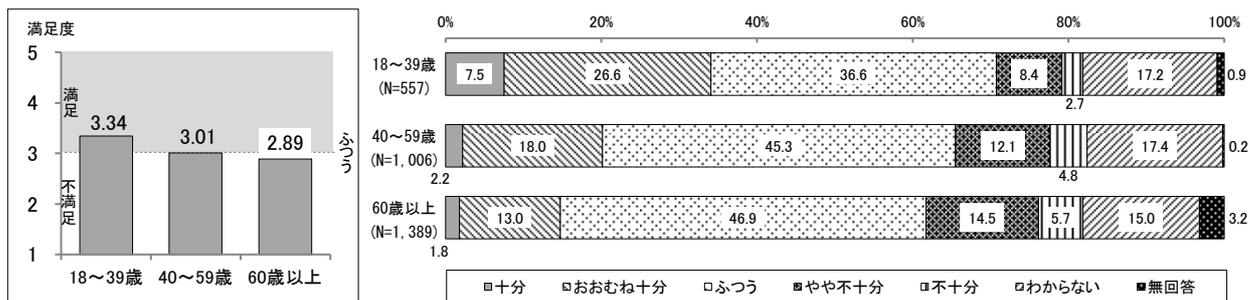
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は3.01で、「ふつう」の3より0.01高かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は20.1%、「ふつう」は44.5%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は17.4%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は64.6%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.34であり、不満を感じていない人の割合は70.7%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.89であり、不満を感じていない人の割合は61.7%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した530人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、136人(25.7%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 海の近くに行くと道の駅等で県内産の魚をよくみかけるが、内陸部ではなかなか目にすることが少ない。(女性/60歳代/仙北地域)
- マダイ、ヒラメ、サケに限らず、北限のフグやカニ等について、もう少し宣伝広報してネームバリューを高める必要があると思います。(男性/60歳代/秋田地域)
- ハタハタは何年も食べていない。もっと増やしてほしい。(女性/40歳代/秋田地域)

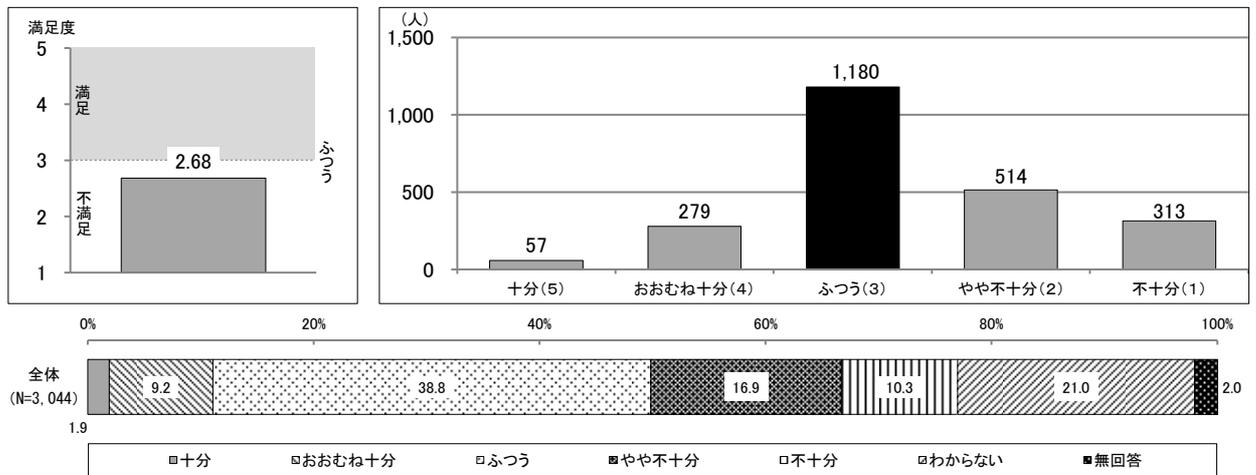
## キ 地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり

問 1-16 豊かな農山漁村で生き生きとした暮らしが営まれ、農地・森林を守る活動などが行われている。

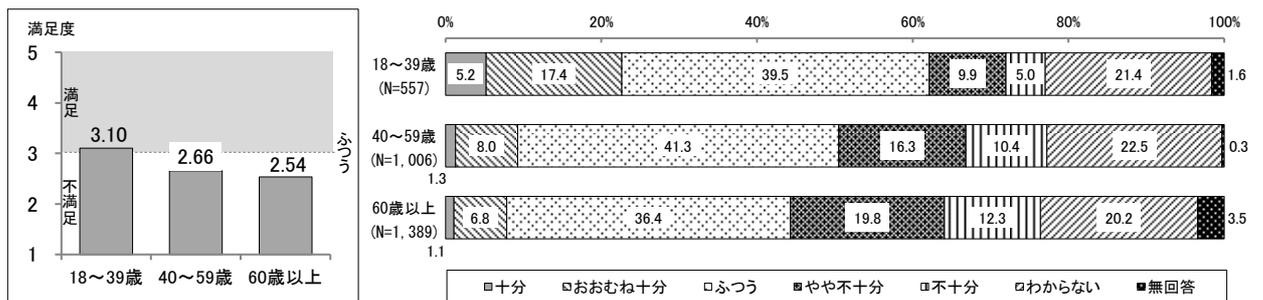
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.68で、「ふつう」の3より0.32低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は11.1%、「ふつう」は38.8%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は27.2%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は49.9%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.10であり、不満を感じていない人の割合は62.1%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.54であり、不満を感じていない人の割合は44.3%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した827人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、203人(24.5%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 地域の限界集落化が進み、里山は荒れる一方。県は後継者不足にもっと力を入れてもらいたい。休耕田活用のため若い人にもっと農林業の魅力を発信し里山の保全に努めてもらいたい。そのために補助金を出すのもよいのではないかと思う。(男性/70歳以上/北秋田地域)
- 高齢化・過疎化で、農地・森林が荒れている。(女性/60歳代/由利地域)
- 以前見た景観と違っている。農地は作付けされてない所が多いし、草刈りもしないような所がある。熊が怖い。(女性/60歳代/鹿角地域)

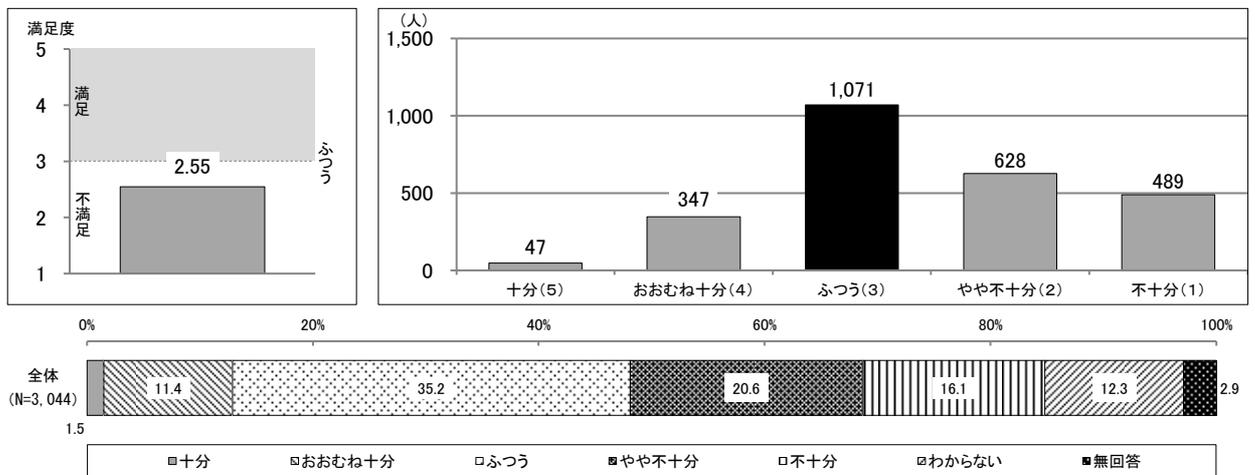
(4) 戦略4 秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略について  
 ア 地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化

問1-17 国内外から観光誘客が進んでいる。

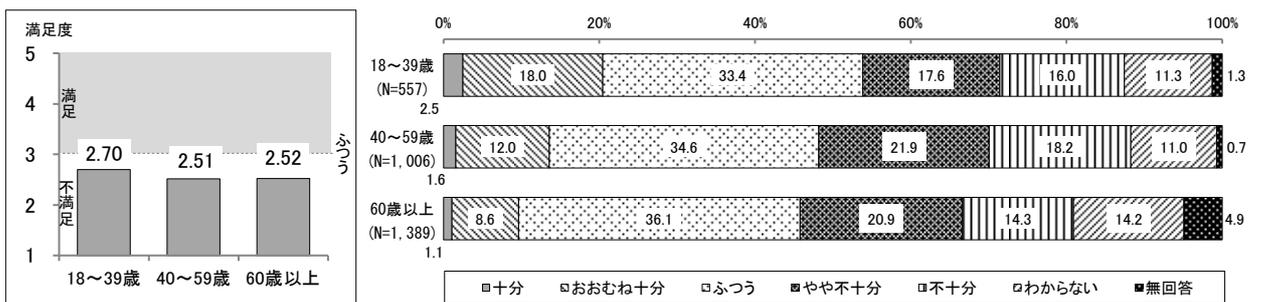
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.55で、「ふつう」の3より0.45低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は12.9%、「ふつう」は35.2%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は36.7%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は48.1%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く2.70であり、不満を感じていない人の割合は53.9%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.51であり、不満を感じていない人の割合は48.2%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,117人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、299人(26.8%)から回答があった。

回答の一部

- 通過点的な観光地はあると思うが、宿泊してじっくり観光という点ではまだ足りないと思う。(女性/50歳代/雄勝地域)
- 観光コンテンツについては、既存の資源に依存し、新規開発、発掘が出ていないように感じる。(男性/40歳代/秋田地域)
- 県内の観光地について、いろいろな手段をもっと積極的に活用しながらの外部へのPRが必要だと思います。(男性/50歳代/北秋田地域)

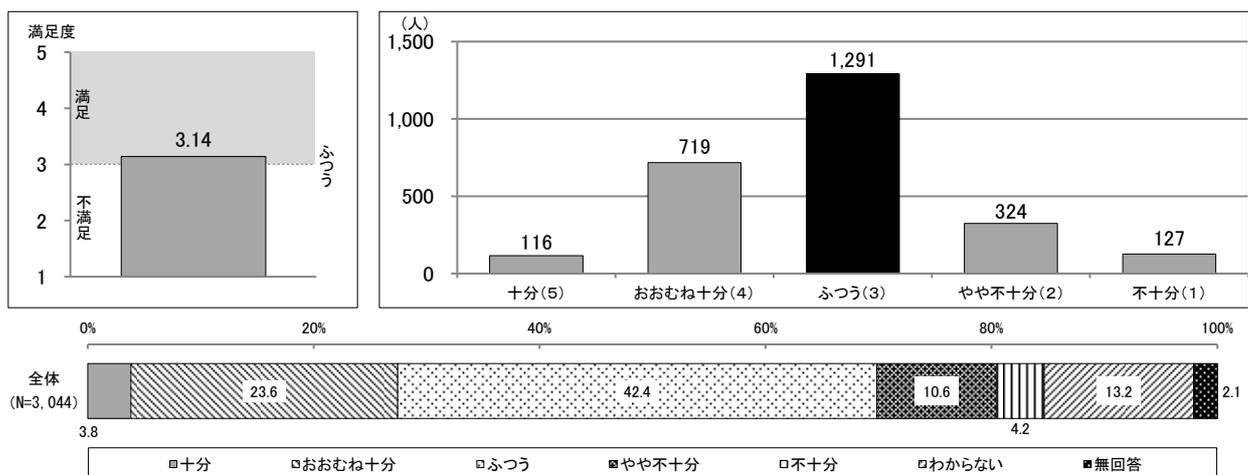
## イ 「食」がリードする秋田の活性化と誘客の推進

問 1-18 日本酒や発酵食品など、秋田の食品が国内外の市場で盛んに流通している。

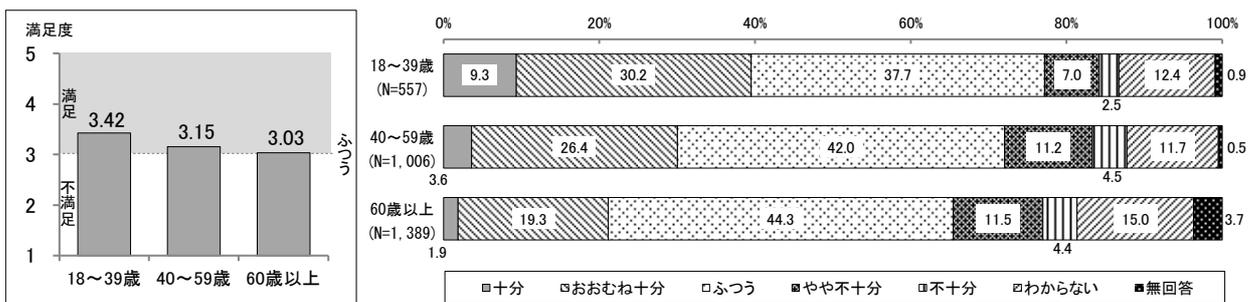
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は3.14で、「ふつう」の3より0.14高かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は27.4%、「ふつう」は42.4%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は14.8%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は69.8%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.42であり、不満を感じていない人の割合は77.2%であった。一方、「60歳以上」の満足度は3.03であり、不満を感じていない人の割合は65.5%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した451人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、78人(17.3%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 流通している秋田の食品が他県と比べて盛んとは、とても言えない。(男性/70歳以上/秋田地域)
- 日本酒の知名度は高いと思われるが、その他の食品は低い状況だと思う。(男性/70歳以上/山本地域)
- 秋田の食品について、一過性にならないように、積極的なアピールの継続と安定供給の体制づくりに官民一体で取り組む必要あり。(男性/50歳代/秋田地域)

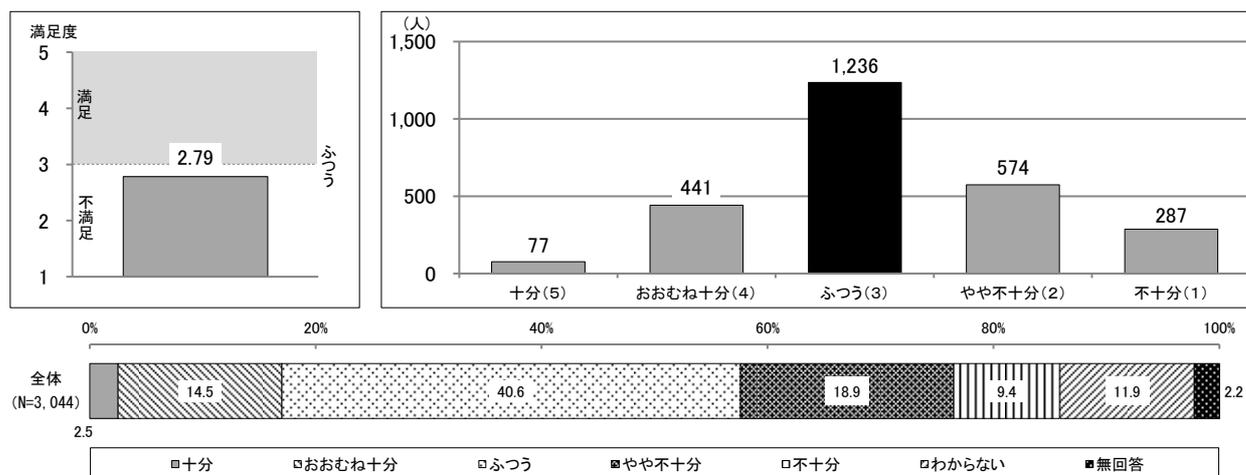
## ウ 文化の発信力強化と文化による地域の元気創出

問 1-19 国内外に秋田ならではの文化の魅力が伝えられている。

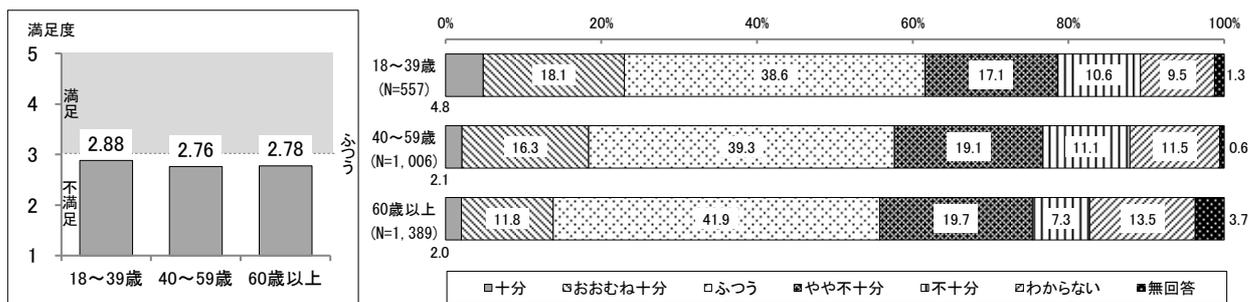
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.79で、「ふつう」の3より0.21低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は17.0%、「ふつう」は40.6%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は28.3%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は57.6%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く2.88であり、不満を感じていない人の割合は61.5%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.76であり、不満を感じていない人の割合は57.7%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した861人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、153人(17.8%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 秋田ならではの文化の魅力に県民自身が気づいてない。全国に発信するに足る、本当に魅力的なコンテンツを県民を交えて精査するべきである。(性別不明/年代不明/居住地域不明)
- もっと秋田の文化の魅力をネットなどを使って国内外の人に伝えることができればよい。(女性/60歳代/秋田地域)
- なまはげが、あまりにも強すぎて、他の魅力ある文化が知られていない。(男性/70歳以上/北秋田地域)

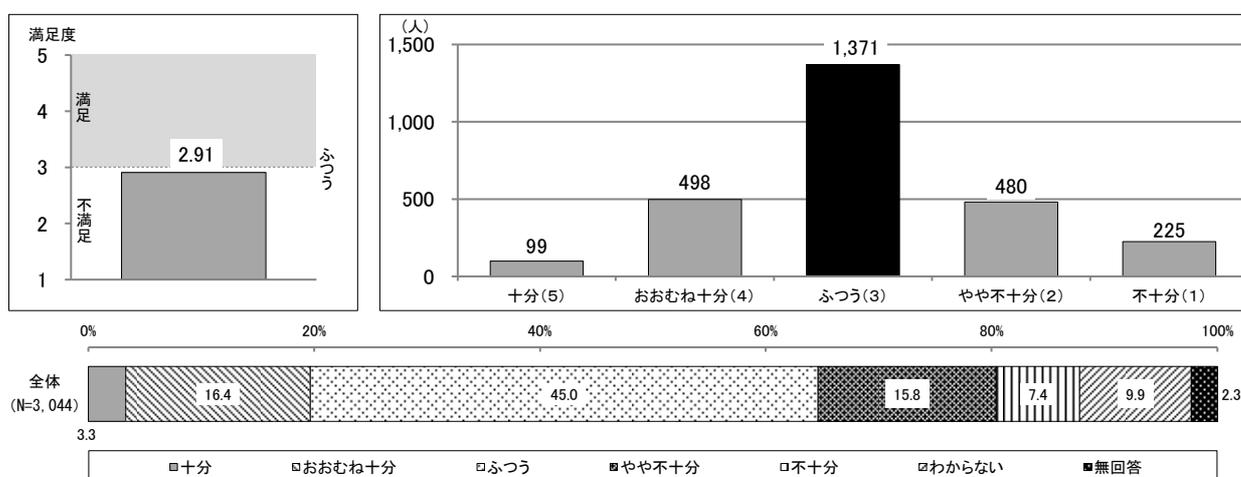
## エ 「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大

問 1-20 スポーツに関連する様々な活動が盛んに行われ、地域に活気がもたらされている。

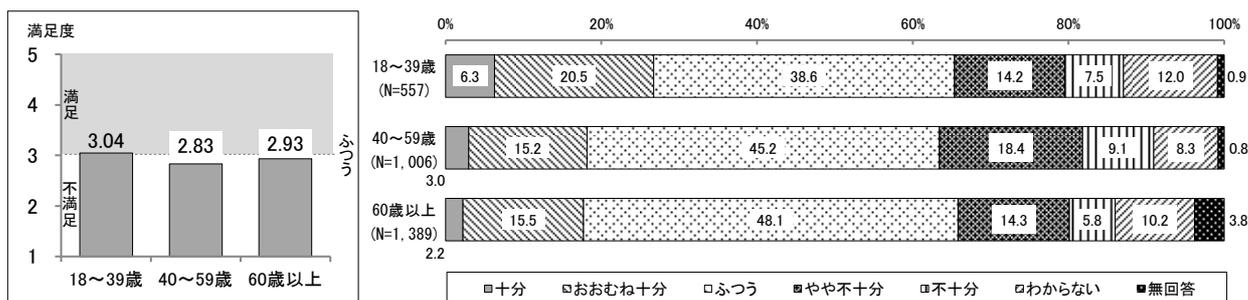
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.91で、「ふつう」の3より0.09低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は19.7%、「ふつう」は45.0%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は23.2%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は64.7%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.04であり、不満を感じていない人の割合は65.4%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.83であり、不満を感じていない人の割合は63.4%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した705人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、139人(19.7%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 秋田市にいればスポーツの活気が感じられるが、地方に行けば「全く」と言っていいほど活気が感じられない。(性別不明/年代不明/居住地域不明)
- スポーツに関連する活動は増えてきているが、観戦、応援しやすい立地条件、交通手段があればもっとよいと思う。(女性/50歳代/秋田地域)
- 県内のプロスポーツチームがもっと強くなければ、地域の活気はもたらされないのでは。(男性/60歳代/平鹿地域)

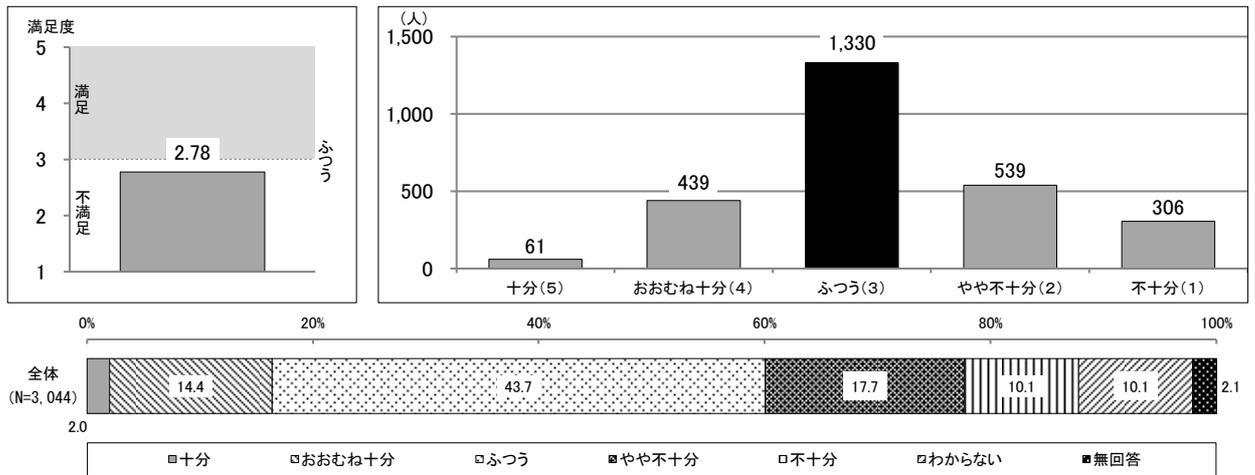
## オ 県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備

問 1-21 地域間の交流や生活を支える県内の道路ネットワークが整備されている。

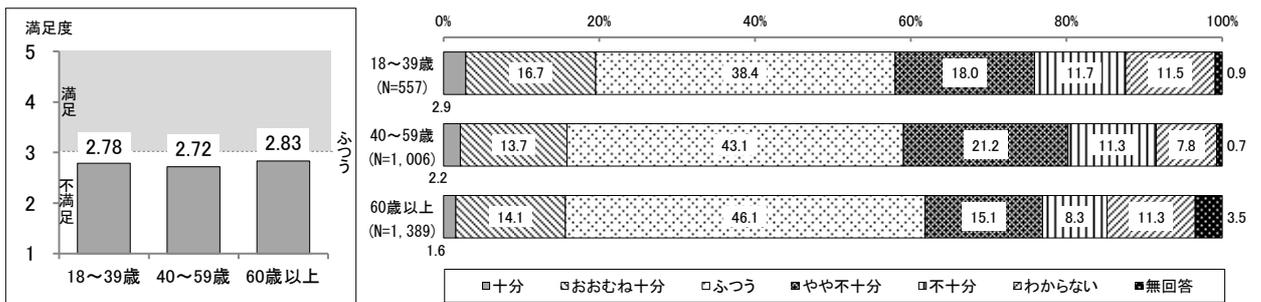
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.78で、「ふつう」の3より0.22低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は16.4%、「ふつう」は43.7%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は27.8%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は60.1%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度が最も高く2.83であり、不満を感じていない人の割合は61.8%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.72であり、不満を感じていない人の割合は59.0%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した845人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、178人(21.1%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 県南、中央は道路整備が進んでいるが、県北は進んでいない。秋田市まで一時間で行けないのは、県北だけである。(男性/70歳以上/北秋田地域)
- まだ、ガタガタな道路や整備されていない場所が多いので、そこを重点的に直すことから始めてほしい。(男性/20歳代/秋田地域)
- 他県に比べ片側2車線の距離が相当短い。(男性/50歳代/仙北地域)

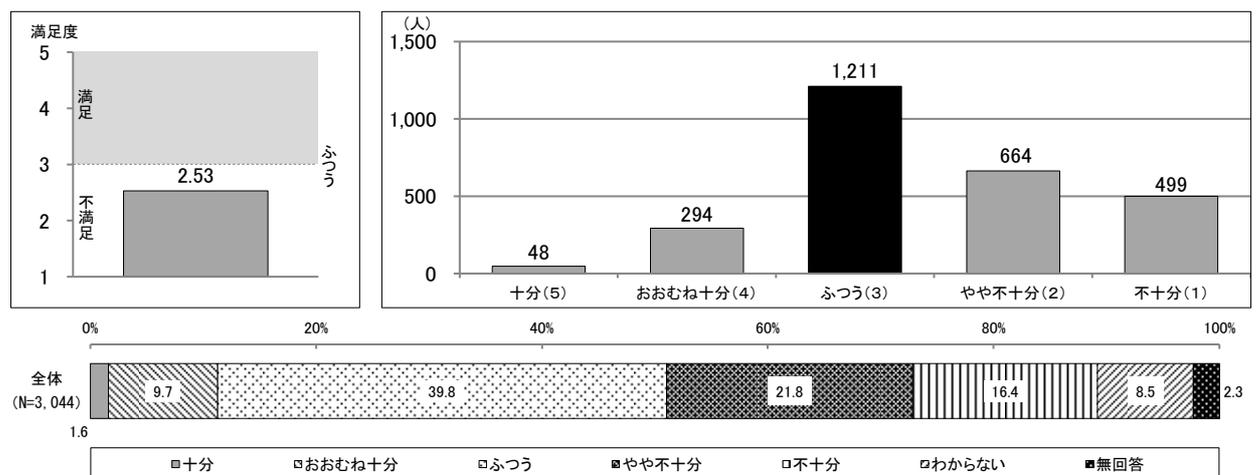
## カ 交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築

問 1-22 鉄道や航空、地域交通など利便性の高い交通ネットワークが整備されている。

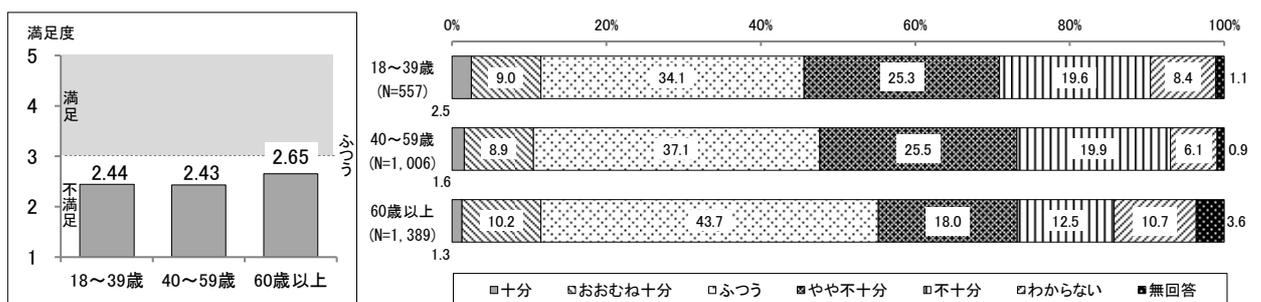
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.53で、「ふつう」の3より0.47低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は11.3%、「ふつう」は39.8%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は38.2%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は51.1%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度が最も高く2.65であり、不満を感じていない人の割合は55.2%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.43であり、不満を感じていない人の割合は47.6%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,163人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、281人(24.2%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 自家用車が普及し、公共交通機関の利用客が少ないためか、公共交通機関の本数が少なく不便である。(女性/50歳代/由利地域)
- 秋田空港から各都市への便数はそこそこであるが、秋田市内から空港までが不便である。車かリムジンバスしかない。(男性/40歳代/秋田地域)
- 秋田新幹線の盛岡～角館はカーブが多すぎて超低速と言っても過言でない。(男性/60歳代/秋田地域)

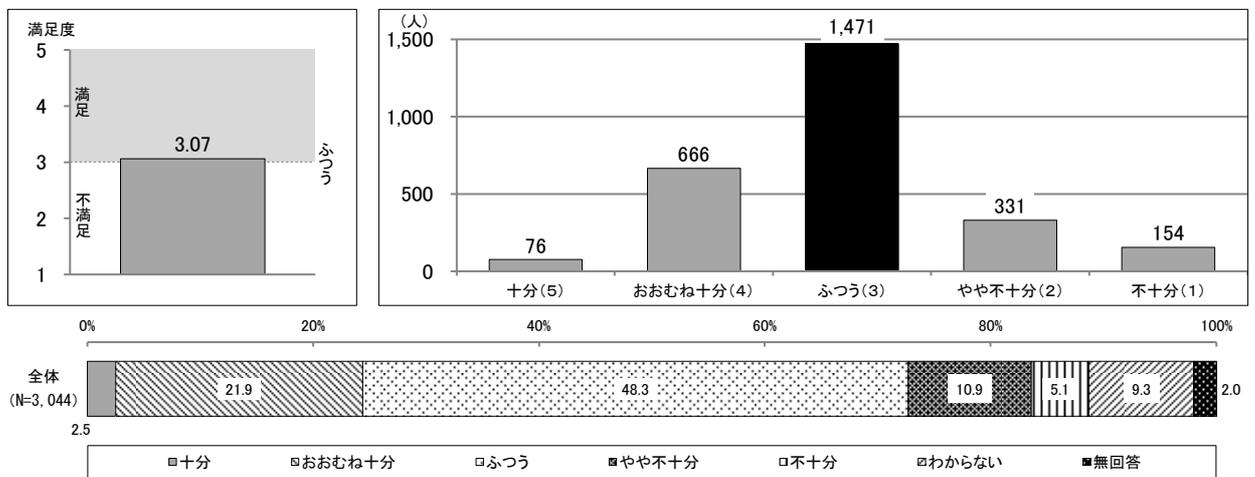
(5) 戦略5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略について  
 ア 健康寿命日本一への挑戦

問1-23 食事やたばこなど、これまでの生活習慣を見直し、健康づくりに取り組む県民の意識が高まってきている。

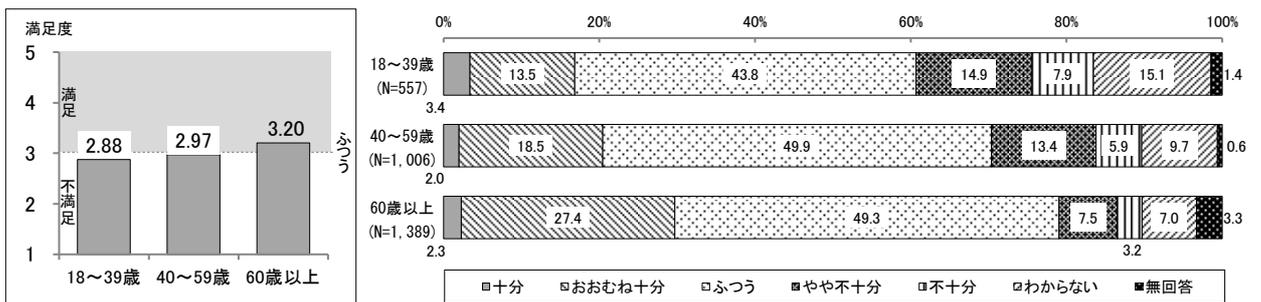
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は3.07で、「ふつう」の3より0.07高かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は24.4%、「ふつう」は48.3%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は16.0%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は72.7%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度が最も高く3.20であり、不満を感じていない人の割合は79.0%であった。一方、「18～39歳」の満足度は2.88であり、不満を感じていない人の割合は60.7%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した485人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、127人(26.2%)から回答があった。

回答の一部

- 年齢による差がある。意識は低い。今まで塩分の多い食事を続けてきた年代の人々は、急に食生活を変えられないだろう。(女性/50歳代/秋田地域)
- 歩きたばこや自転車に乗りながらの危険な喫煙者が多く、常識の無いところでの喫煙者も目立っているのを、それを制限する活動や施策が必要だと思う。(男性/20歳代/秋田地域)
- 平均寿命は全国で最下位を争っているレベル。受診率も低いと思う。市町村単位で受診率を上げ、健康づくりに取り組んでいくべき。(男性/20歳代/山本地域)

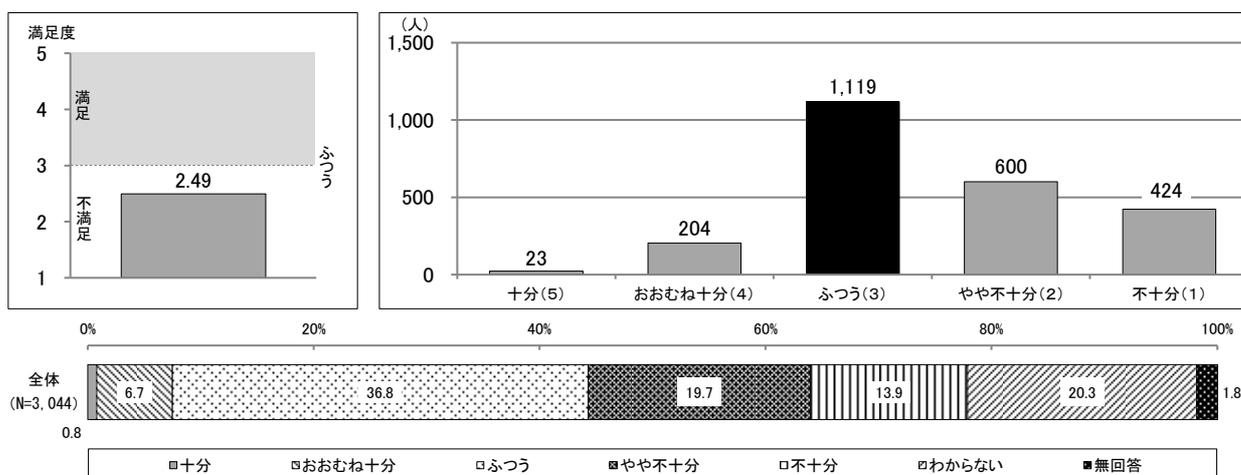
## イ 心の健康づくりと自殺予防対策

問 1-24 誰も自殺に追い込まれることのないよう、悩みを抱えた方が相談しやすい環境が整っている。

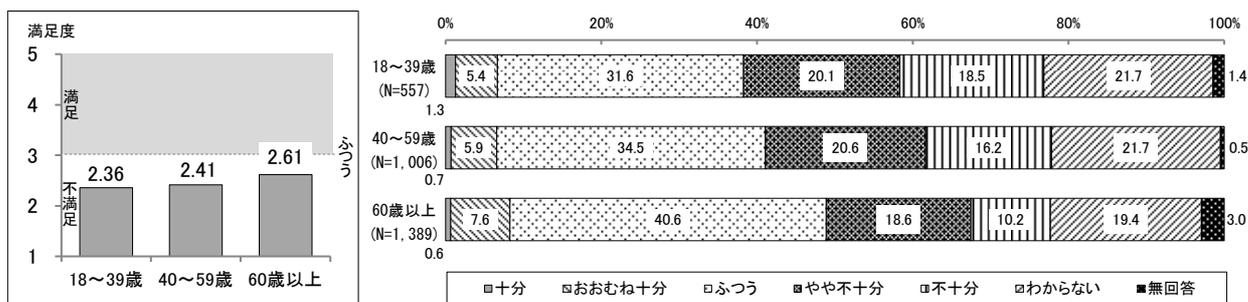
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.49で、「ふつう」の3より0.51低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は7.5%、「ふつう」は36.8%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は33.6%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は44.3%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度が最も高く2.61であり、不満を感じていない人の割合は48.8%であった。一方、「18～39歳」の満足度は2.36であり、不満を感じていない人の割合は38.3%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,024人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、229人(22.4%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 相談することが恥ずかしい、相談先がわからないという方が依然多いという印象を持っている。専門家への無料相談の機会が少ないのも問題である。気軽に相談してみようと思わせる機運づくりが求められる。(男性/40歳代/秋田地域)
- 対面のみならず、電話やメール、ネット等も駆使して、もっと相談しやすい環境にした方が良いと思う。(女性/40歳代/秋田地域)
- 自分から助けを求める信号を出せる人は少なく、家族など気づける人を多くすることで相談しやすい環境が整うと思う。(男性/20歳代/仙北地域)

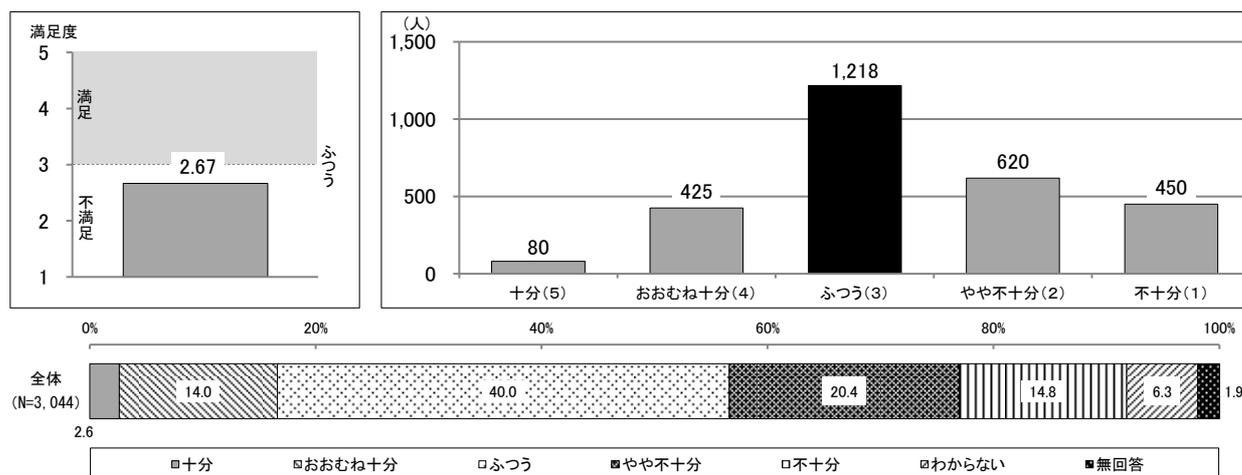
## ウ 医療ニーズに対応した医療提供体制の整備

問1-25 どこに住んでいても、安心して医療を受けられる体制が整っている。

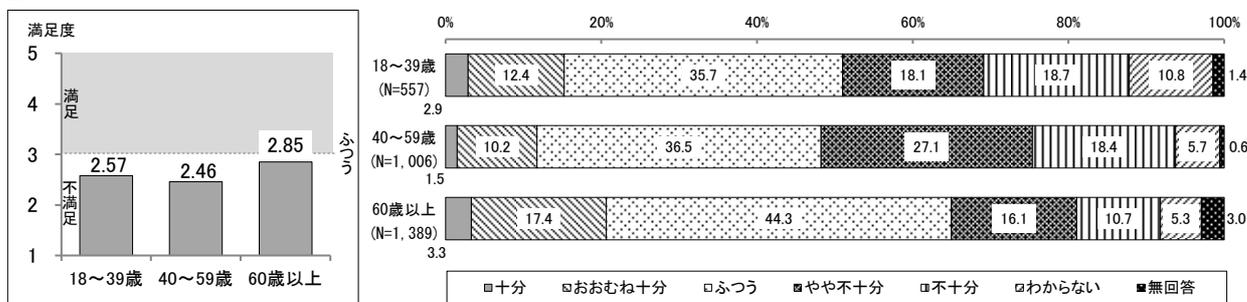
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.67で、「ふつう」の3より0.33低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は16.6%、「ふつう」は40.0%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は35.2%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は56.6%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度が最も高く2.85であり、不満を感じていない人の割合は65.0%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.46であり、不満を感じていない人の割合は48.2%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,070人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、268人(25.0%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 県中央と、県北、県南の医師の偏差が著しい。秋田大学医学部への県推薦枠が生かされていないように感じられる。(男性/60歳代/秋田地域)
- 高度医療体制が秋田市に集中しており、ますます地域格差が広がっている。高齢化社会を迎え、どの地域においても高度な治療を受けられる体制を早急に整備してもらいたい。(男性/70歳以上/北秋田地域)
- 産婦人科が少なく、出産を始め、婦人科検診などで病院の選択肢がない。(女性/30歳代/北秋田地域)

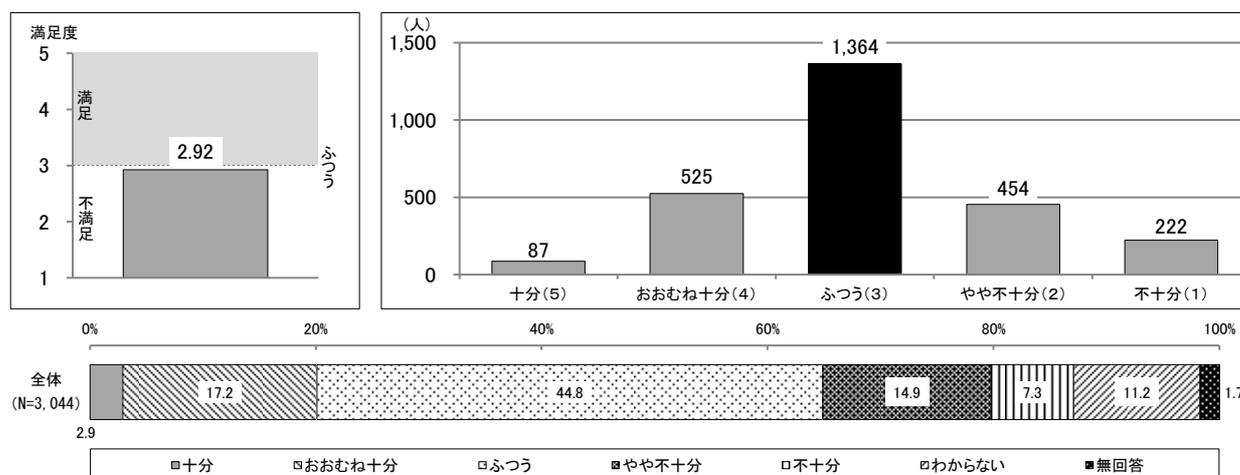
## エ 高齢者や障害者等が安全・安心に暮らせる福祉の充実

問 1-26 高齢者や障害がある方などが、住み慣れた地域でニーズに合った介護・福祉サービスを受けることができる。

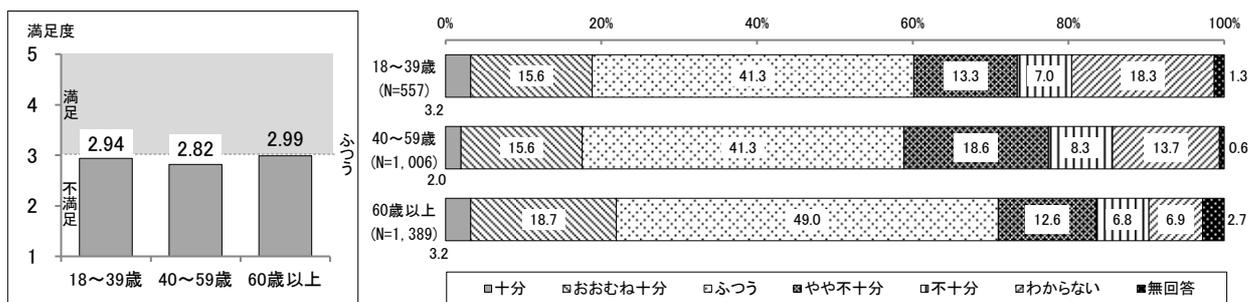
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.92で、「ふつう」の3より0.08低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は20.1%、「ふつう」は44.8%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は22.2%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は64.9%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度が最も高く2.99であり、不満を感じていない人の割合は70.9%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.82であり、不満を感じていない人の割合は58.9%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した676人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、129人(19.1%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 介護施設はどこも人手不足と聞く。丁寧なサービスが受けられるように人材の確保を進めてほしい。(女性/30歳代/仙北地域)
- 住み慣れた地域では介護サービス受けることができない。満杯で入所待ちの人が多く。(女性/50歳代/秋田地域)
- 環境が整っていないのではないかと。郊外店を例に挙げると、身体障害者優先駐車ゾーンは整備しているが、誰が停めてもお構いなし。これだと身体障害者の方々は肩身の狭い思いをするだけ。(男性/50歳代/山本地域)

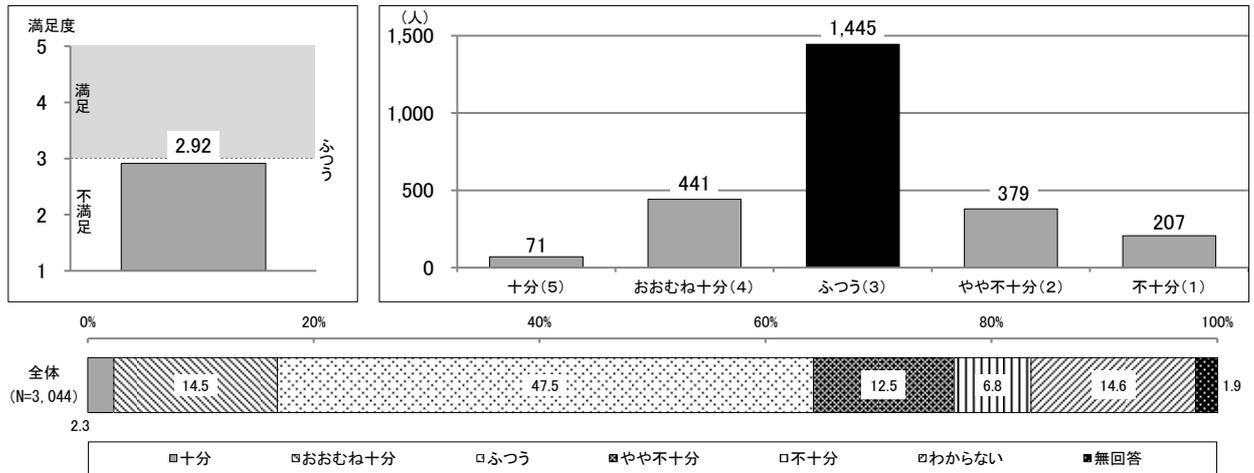
## オ 次代を担う子どもの育成

問 1-27 全ての子どもが生まれ育った環境にかかわらず、健やかに育まれる支援体制が整っている。

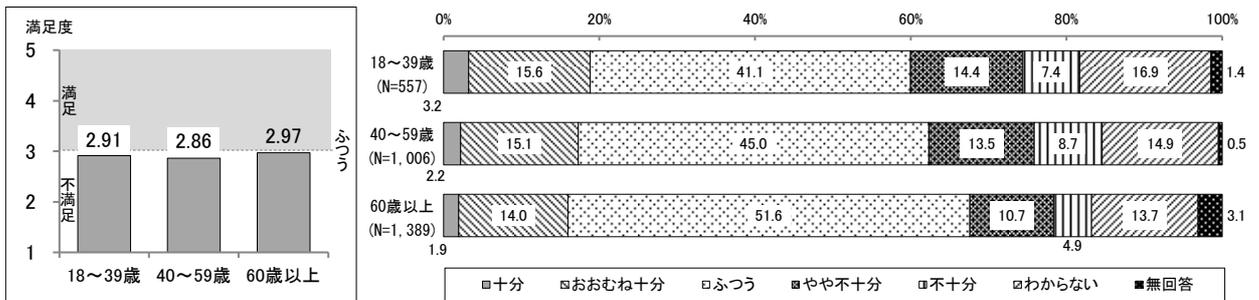
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.92で、「ふつう」の3より0.08低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は16.8%、「ふつう」は47.5%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は19.3%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は64.3%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度が最も高く2.97であり、不満を感じていない人の割合は67.5%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.86であり、不満を感じていない人の割合は62.3%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した586人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、99人(16.9%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 虐待に関して、専門機関と地域の民生委員、学校、幼稚園、保育所などの連携を強化していくべきだと思う。命を守ることを優先してほしい。(女性/40歳代/秋田地域)
- 支援が中央に集まっていないか。県北、県南はどうか。生活困難世帯が多く、女性の収入が少ないように思う。(女性/60歳代/北秋田地域)
- 最近は子ども食堂など居場所づくりを頑張っているものの、十分とは言えない。(女性/60歳代/鹿角地域)

(6) 戦略6 ふるさとの未来を拓く人づくり戦略について

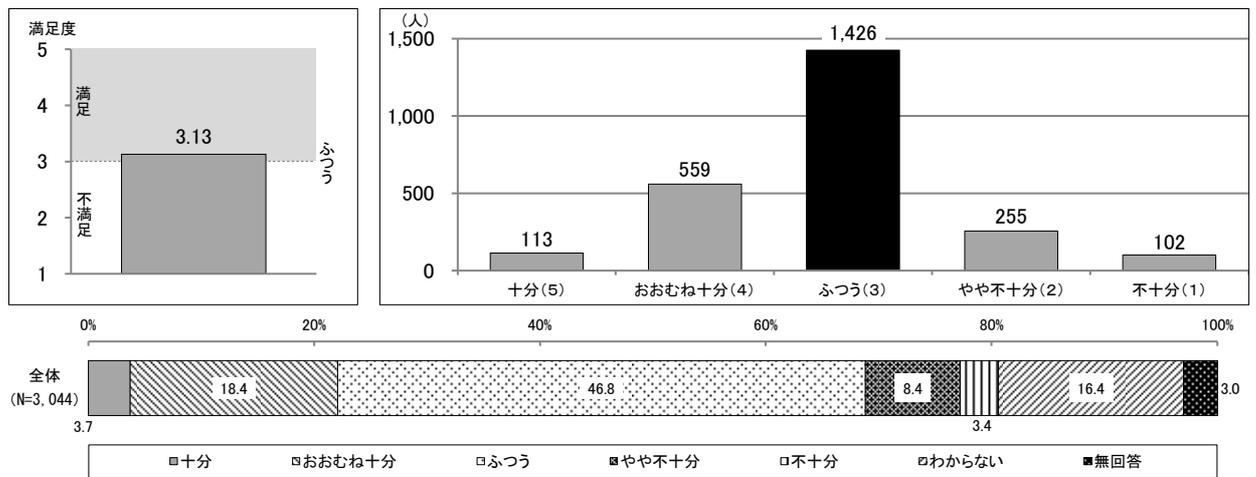
ア 自らの未来を主体的に切り拓き、秋田を支える気概に満ちた人材の育成

問1-28 学校教育を通じて、ふるさと秋田を愛し支える心が育まれている。

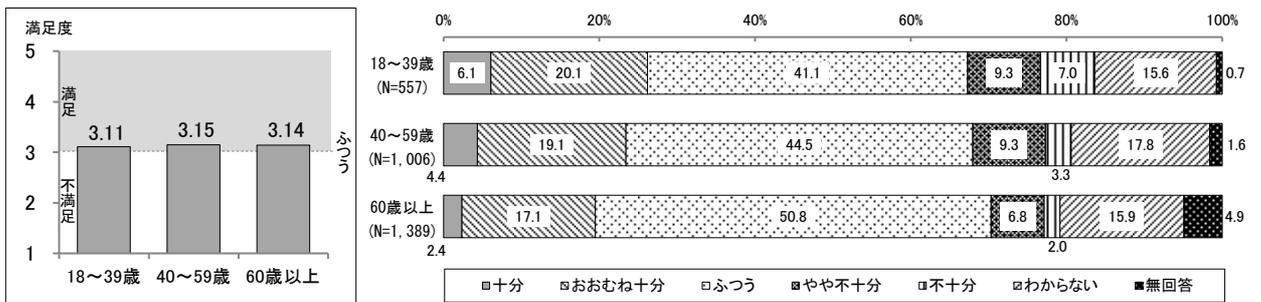
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は3.13で、「ふつう」の3より0.13高かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は22.1%、「ふつう」は46.8%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は11.8%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は68.9%であった。



年代別では、「40～59歳」の満足度が最も高く3.15であり、不満を感じていない人の割合は68.0%であった。一方、「18～39歳」の満足度は3.11であり、不満を感じていない人の割合は67.3%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した357人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、74人(20.7%)から回答があった。

回答の一部

- もっと地域の中に入って活動してほしい。教育現場に地域の人に参加する機会があっても良いと思う。(女性/40歳代/秋田地域)
- ふるさとを愛する心は、両親、家族、地域がまずその気持ちを持っていないと、生まれてこないと思う。(女性/50歳代/雄勝地域)
- 地域の行事や伝統芸を伝授していくために、もっと校外学習に活発に取り組んでいけば良いと思う。(男性/60歳代/秋田地域)

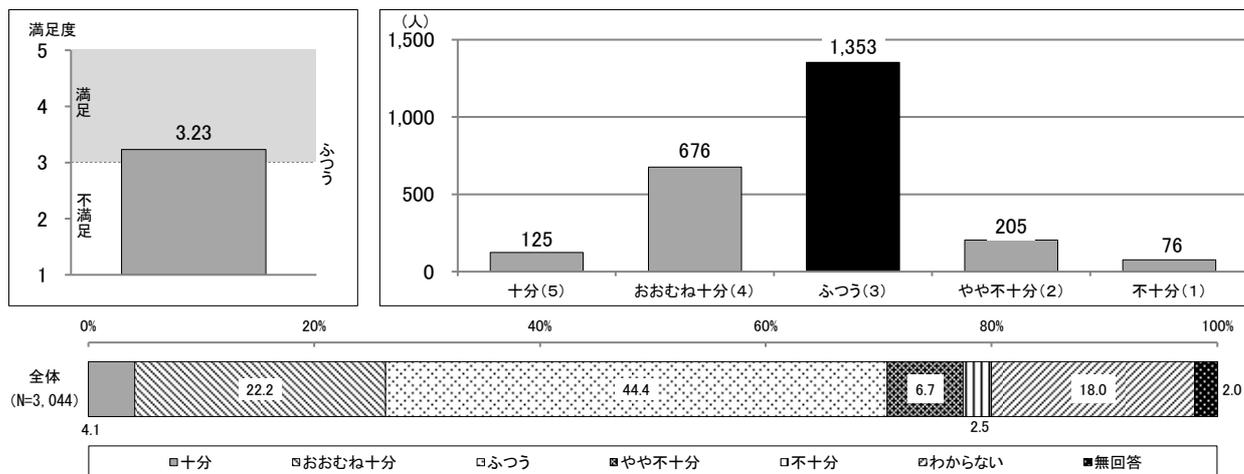
## イ 子ども一人一人に応じた教育の充実と確かな学力の定着

問1-29 学校教育を通じて、意欲的に学ぼうとする態度や、自ら考え、判断し、表現する力が育まれている。

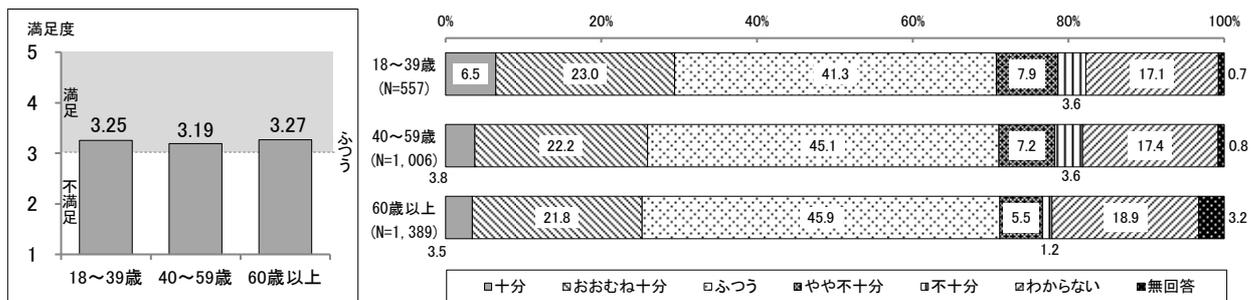
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は3.23で、「ふつう」の3より0.23高かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は26.3%、「ふつう」は44.4%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は9.2%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は70.7%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度が最も高く3.27であり、不満を感じていない人の割合は71.2%であった。一方、「40～59歳」の満足度は3.19であり、不満を感じていない人の割合は71.1%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した281人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、61人(21.7%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 大学受験のための勉強だけでは、主体性は身につかない。子どもの個性を伸ばす教育をしてほしい。(男性/70歳以上/北秋田地域)
- 今の子どもは自分で考える発想が乏しい。判断し行動する力も乏しい。色々な方向からの考え方ができていない。(女性/50歳代/秋田地域)
- 自分の思っている事や考えている事を表現できなかつたり、堂々と表現できない子どもが多いと思う。子どもがハッキリと学校外でも表現できる教育や、自信を持ってもらえるような教育が必要だと思う。(男性/20歳代/秋田地域)

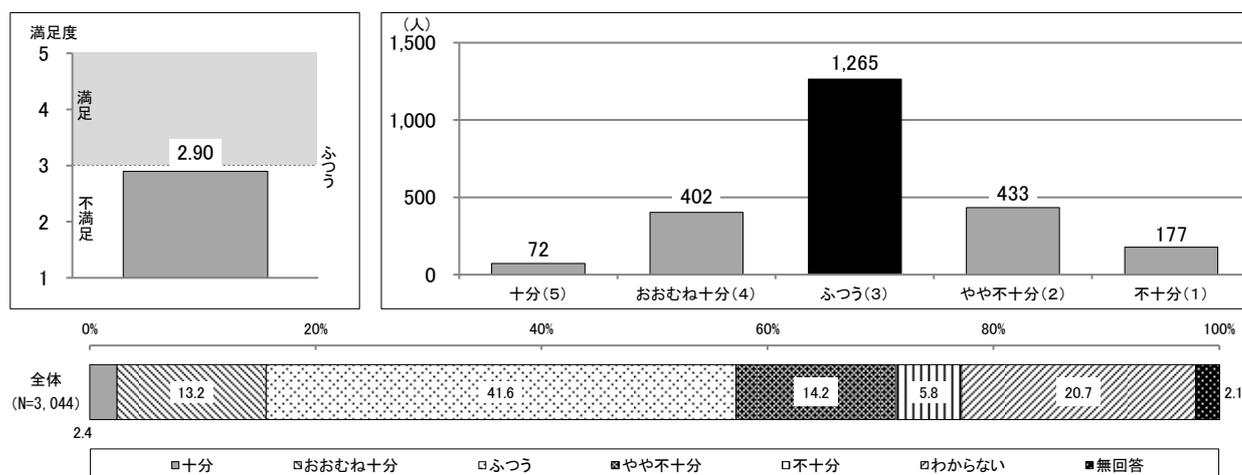
## ウ 世界で活躍できるグローバル人材の育成

問 1-30 学校教育を通じて、外国文化を理解しようとする態度や、英語でコミュニケーションをとる能力が育まれている。

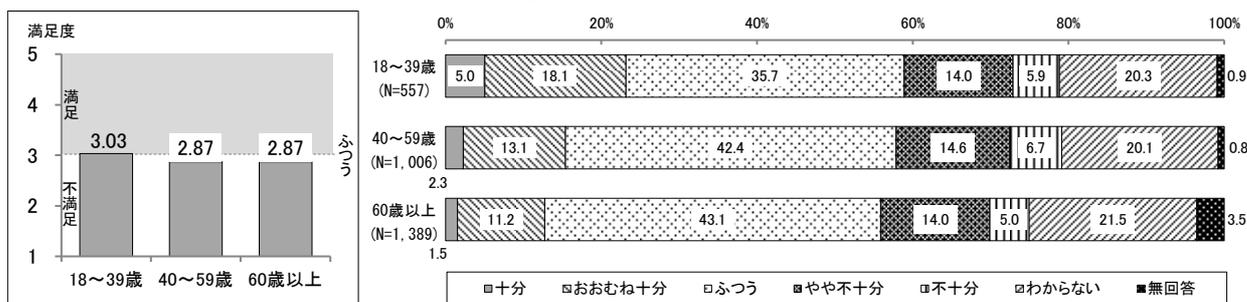
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.90で、「ふつう」の3より0.10低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は15.6%、「ふつう」は41.6%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は20.0%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は57.2%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.03であり、不満を感じていない人の割合は58.8%であった。一方、「40歳～59歳」及び「60歳以上」の満足度は2.87であり、不満を感じていない人の割合は、それぞれ57.8%、55.8%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した610人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、96人(15.7%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 教科書の内容だけではなく、日常生活の中で活かせる英語、英会話などを学ぶ機会を充実させるべき。(男性/40歳代/秋田地域)
- 英語圏にとどまらず、異文化理解、多言語教育がもっと盛りあがってほしい。(女性/30歳代/秋田地域)
- 国際教養大学は全国でも珍しく、県内外からの入学者も多く人気があるが、県全体ではまだまだ海外文化の受入れや英語等コミュニケーションが十分浸透しているとは言えないと思う。(男性/30歳代/仙北地域)

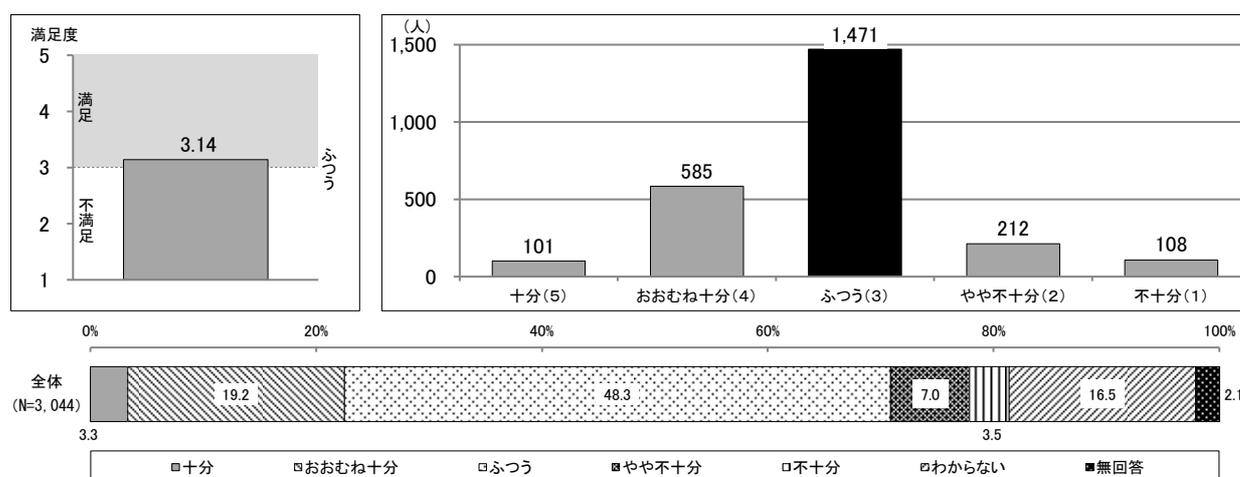
## エ 豊かな人間性と健やかな体の育成

問 1-31 学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな人間性と健やかな体が育まれている。

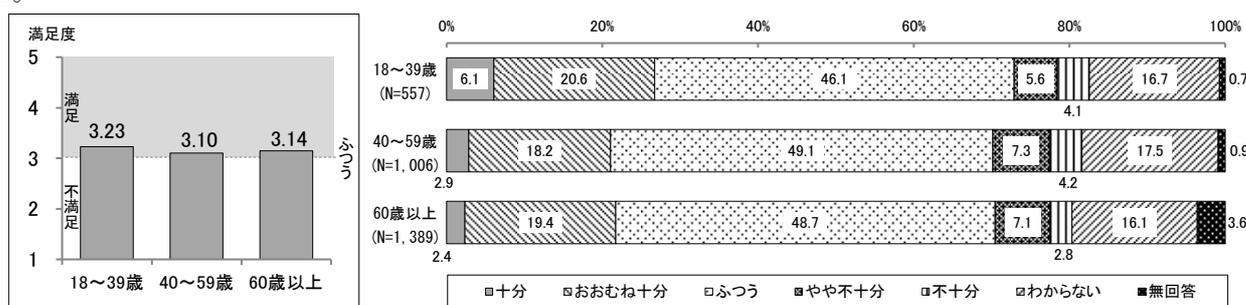
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は3.14で、「ふつう」の3より0.14高かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は22.5%、「ふつう」は48.3%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は10.5%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は70.8%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.23であり、不満を感じていない人の割合は72.8%であった。一方、「40～59歳」の満足度は3.10であり、不満を感じていない人の割合は70.2%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した320人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、59人(18.4%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 地域によっては良い所もあると思うが、面倒くさいことには見て見ぬふりだったりで傍観主義な子が多い。困っている友達がいても声をかけたり手伝ってあげたりする子が少ない。(女性/50歳代/仙北地域)
- 学校教育だけではなく、その子の経験や人間関係、取り巻く大人、親の関わり等も大いに関係があると思う。(女性/40歳代/由利地域)
- いじめや不登校など集団からの孤立の問題が増えているのではないかと。数字として県民に示し、対策をとるとともに、個性を尊重し合える場になることが望ましいと考える。(女性/50歳以上/雄勝地域)

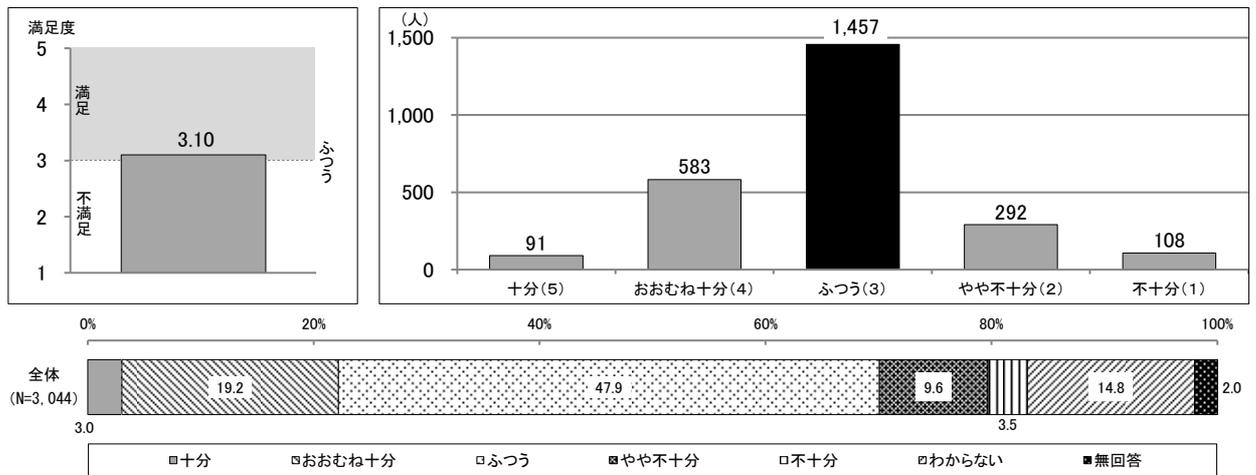
## オ 子どもの成長を支える魅力的で良質な学びの場づくり

問 1-32 学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもたちの成長を支えていく体制が整備されている。

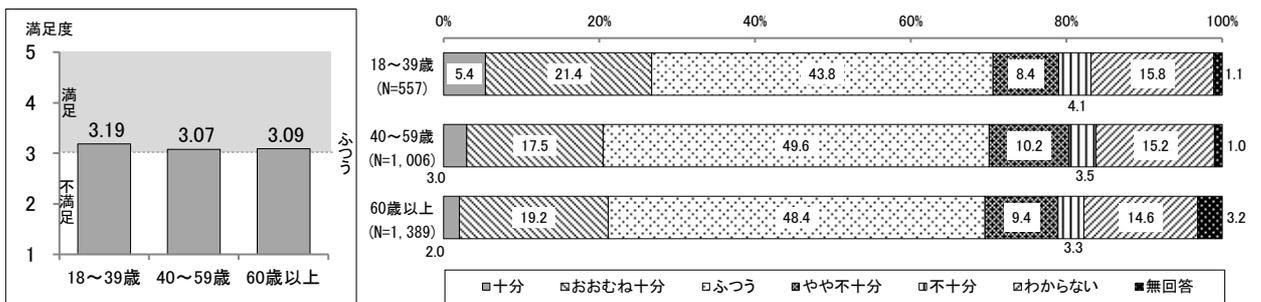
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は3.10で、「ふつう」の3より0.10高かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は22.2%、「ふつう」は47.9%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は13.1%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は70.1%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.19であり、不満を感じていない人の割合は70.6%であった。一方、「40歳～59歳」の満足度は3.07であり、不満を感じていない人の割合は70.1%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した400人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、55人（13.8%）から回答があった。

#### 回答の一部

- 昔と違い、口うるさいくらいのおじさん、おばさんが少なくなっている。子供は地域で育てるものだと思う。(男性/40歳代/秋田地域)
- 学童はもっと地域と連携するべき。多世代交流の機会を増やす必要がある。(男性/70歳以上/北秋田地域)
- 地域連携については学校裁量によるところが大きく、社会全体で整備されているとは言い難い。(女性/40歳代/平鹿地域)

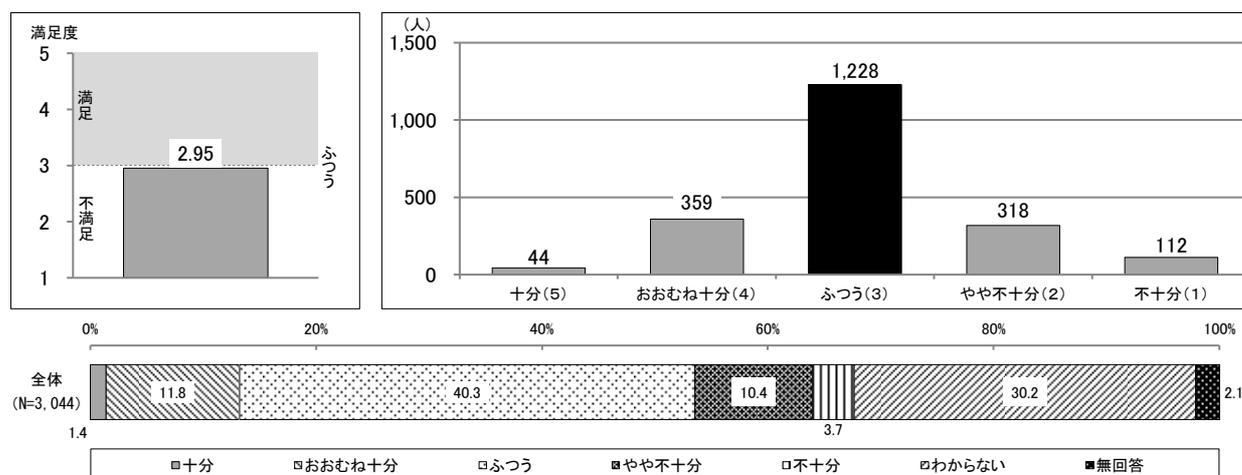
## カ 地域社会と産業の活性化に資する高等教育機関の振興

問 1-33 県内の大学等で、地域の活性化につながる教育・研究・社会貢献活動が行われている。

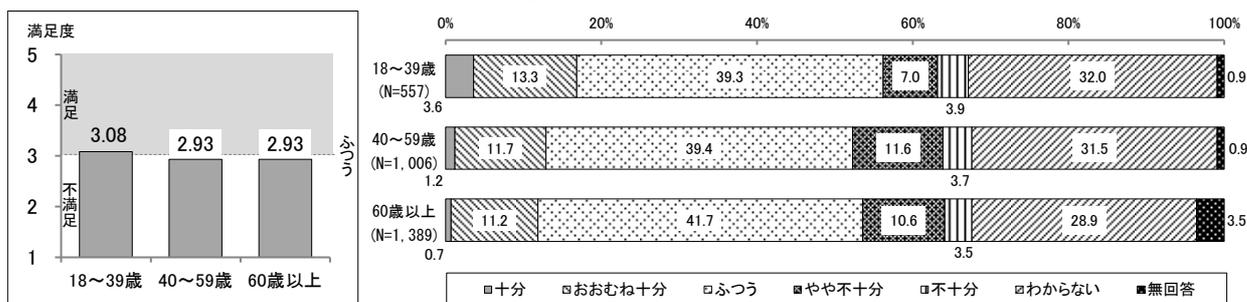
### (a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.95で、「ふつう」の3より0.05低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は13.2%、「ふつう」は40.3%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は14.1%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は53.5%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.08であり、不満を感じていない人の割合は56.2%であった。一方、「40歳～59歳」及び「60歳以上」の満足度は2.93であり、不満を感じていない人の割合は、それぞれ52.3%、53.6%であった。



### (b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した430人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、61人(14.2%)から回答があった。

#### 回答の一部

- 県内大学に限らず、地域の特性を活かした民間企業との研究開発をする必要がある。(男性/60歳代/北秋田地域)
- 課題を地域住民から募集するなど、地域の方々に目に見える形で課題解決に取り組む大学であってほしい。(男性/70歳以上/秋田地域)
- 県内の大学等と、地域活性化を目的としているNPOなどのボランティア団体と協力して活動する必要があると思う。(男性/20歳代/秋田地域)

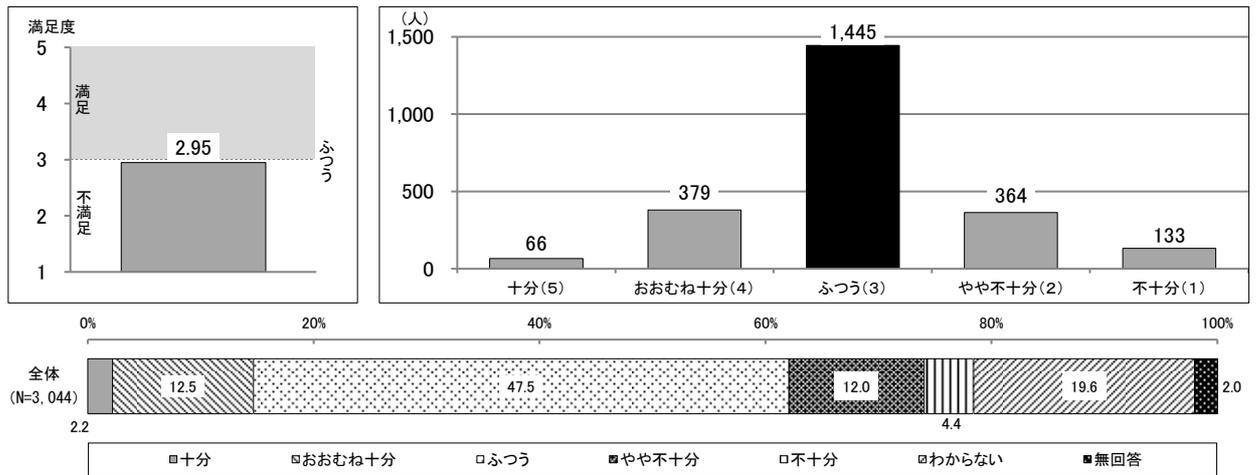
キ 地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供

問 1-34 県民の多様な生涯学習の機会や芸術文化に触れる機会が提供されている。

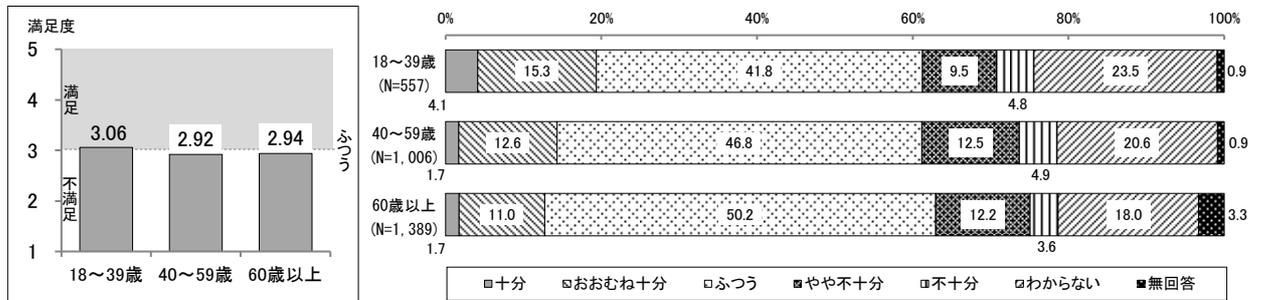
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.95で、「ふつう」の3より0.05低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は14.7%、「ふつう」は47.5%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は16.4%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は62.2%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度が最も高く3.06であり、不満を感じていない人の割合は61.2%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.92であり、不満を感じていない人の割合は61.1%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した497人に、理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、70人(14.1%)から回答があった。

回答の一部

- いつどこでどんなことが行われているか、中々伝わってこない。今までの周知の仕方が、時代に合っていないのかもしれない。(男性/60歳代/秋田地域)
- 学校での勉強の他に、子ども達が生涯学習や芸術を学ぶ機会などを定期的に設けていく必要があると思う。そうしていくことで、もっと秋田を大切に好きになる子ども達が増えると思う。(男性/20歳代/秋田地域)
- 県央のみ機会が多いと思われる、県北、県央、県南で隔年開催するような芸術施策がほしい。(男性/70歳以上/北秋田地域)

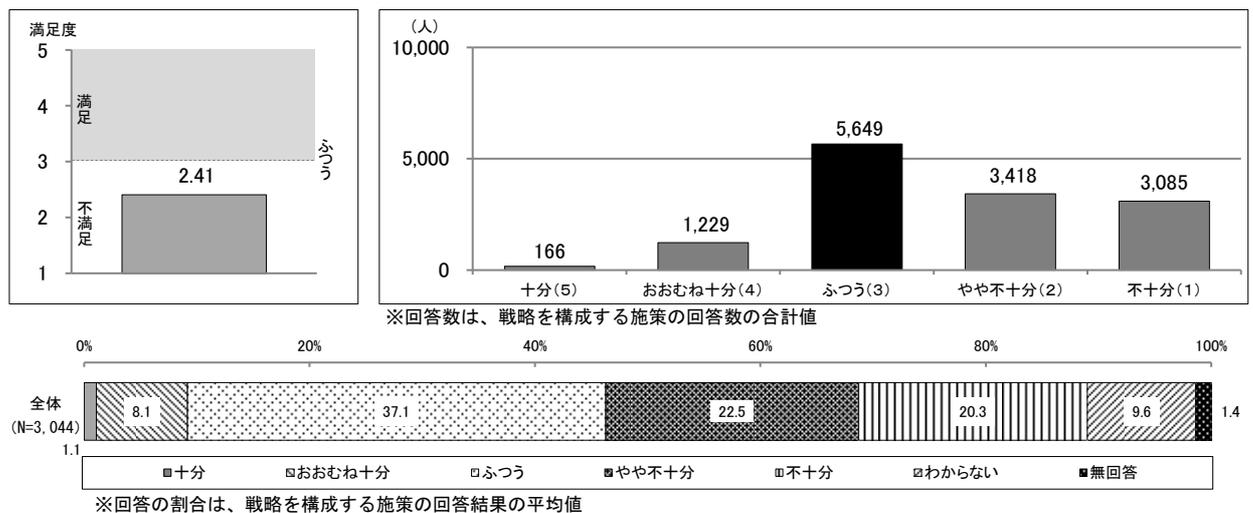
## 2 (参考) 各戦略の施策に関連する事柄についての満足度の平均値

「1 各戦略の施策に関連する事柄についての満足度」について、戦略ごとに平均値を計算した結果は次のとおりである。

### 戦略1 秋田の未来につながるふさと定着回帰戦略（問1-1～問1-5）

5段階評価の満足度の平均値は2.41で、「ふつう」の3より0.59低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

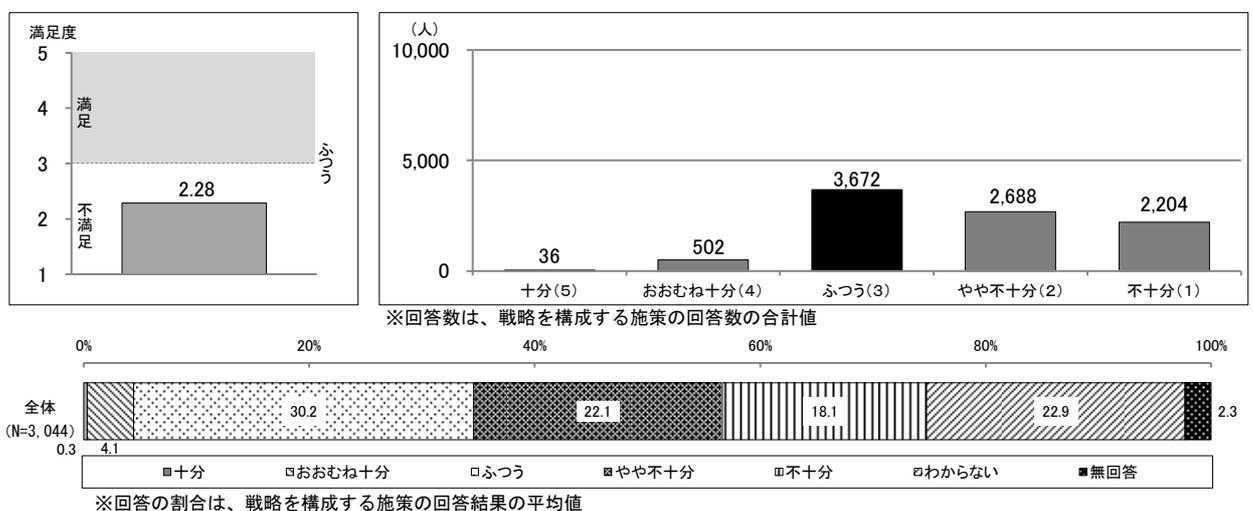
「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は9.2%、「ふつう」は37.1%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は42.8%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は46.3%であった。



### 戦略2 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略（問1-6～問1-9）

5段階評価の満足度の平均値は2.28で、「ふつう」の3より0.72低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

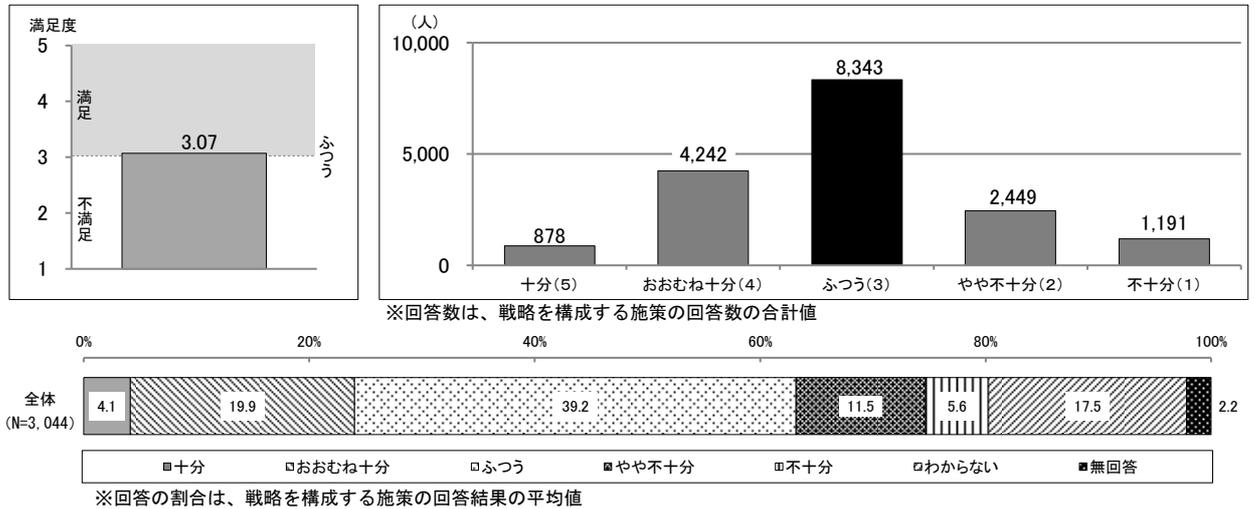
「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は4.4%、「ふつう」は30.2%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は40.2%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は34.6%であった。



### 戦略3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略（問1-10～問1-16）

5段階評価の満足度の平均値は3.07で、「ふつう」の3より0.07高かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

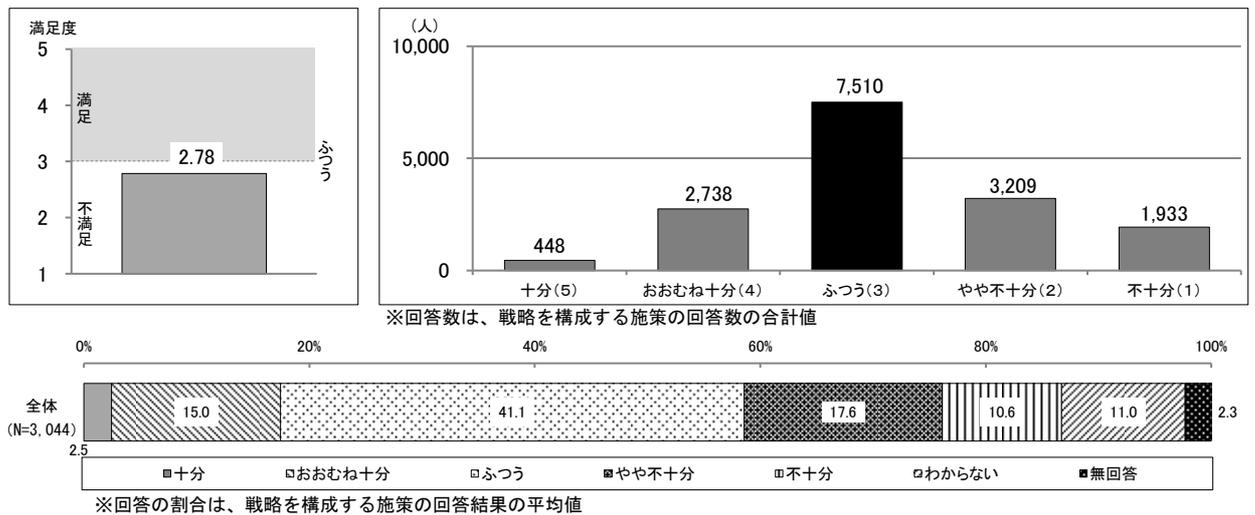
「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は24.0%、「ふつう」は39.2%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は17.1%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は63.2%であった。



### 戦略4 秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略（問1-17～問1-22）

5段階評価の満足度の平均値は2.78で、「ふつう」の3より0.22低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

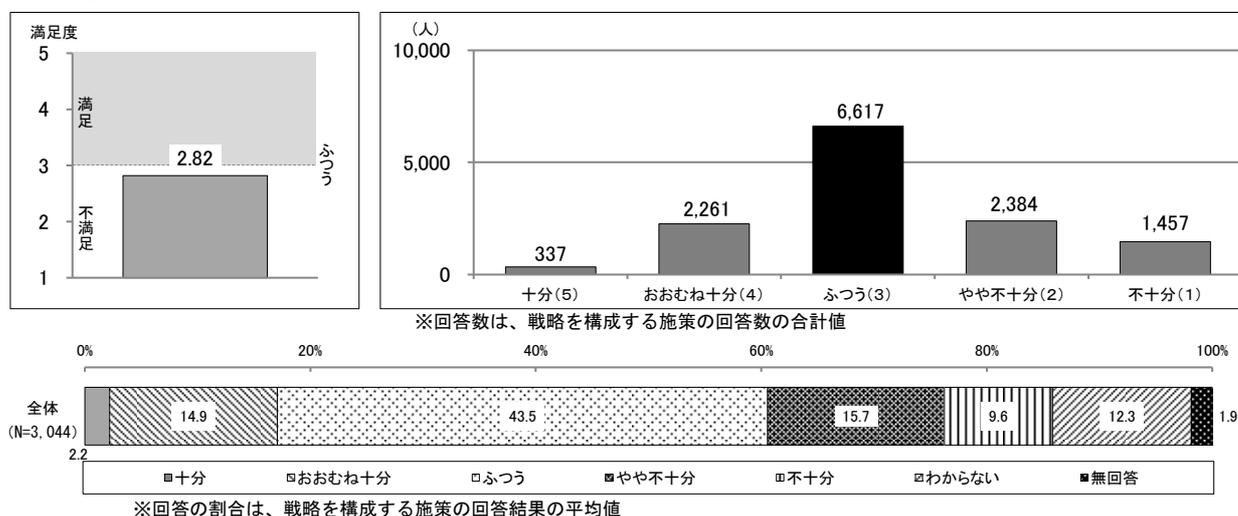
「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は17.5%、「ふつう」は41.1%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は28.2%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は58.6%であった。



## 戦略5 誰もが元気で活躍できる健康長寿・地域共生社会戦略（問1-23～問1-27）

5段階評価の満足度の平均値は2.82で、「ふつう」の3より0.18低かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

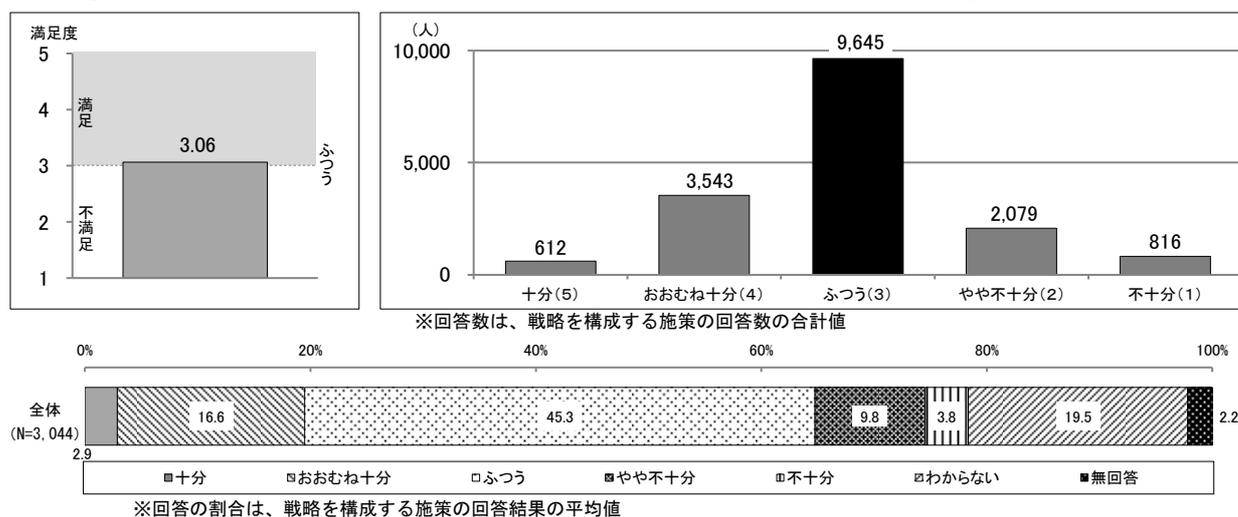
「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は17.1%、「ふつう」は43.5%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は25.3%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は60.6%であった。



## 戦略6 ふるさとの未来を拓く人づくり戦略（問1-28～問1-34）

5段階評価の満足度の平均値は3.06で、「ふつう」の3より0.06高かった。回答では「ふつう」が最も多かった。

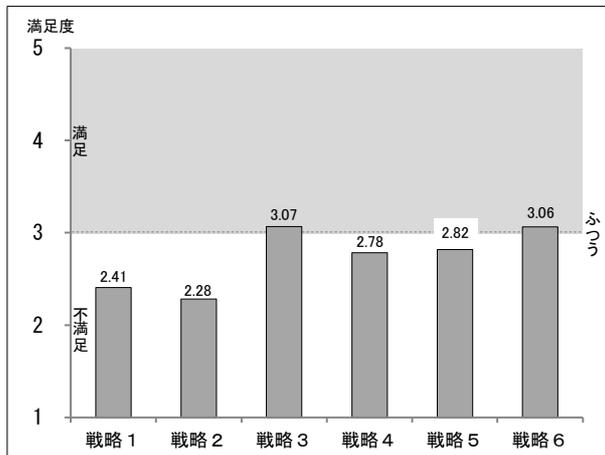
「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は19.5%、「ふつう」は45.3%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は13.6%であった。また、「十分」・「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（不満を感じていない人の割合）は64.8%であった。



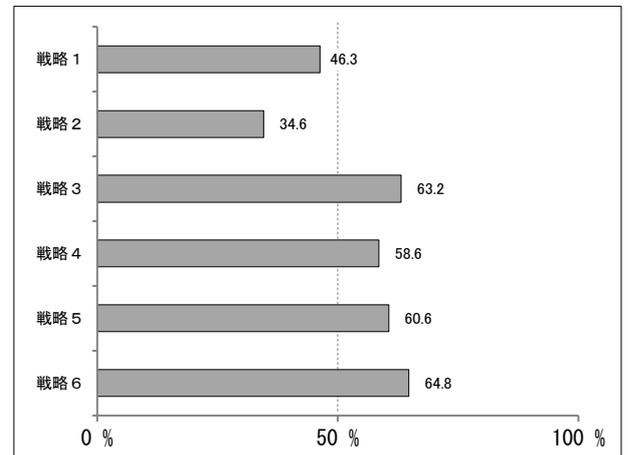
満足度の平均値が最も高かったのは「戦略3 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略」の3.07で、不満を感じていない人の割合は63.2%であった。次いで、「戦略6 ふるさとの未来を拓く人づくり戦略」の3.06で、不満を感じていない人の割合は64.8%であった。

満足度の平均値が最も低かったのは、「戦略2 社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略」の2.28で、不満を感じていない人の割合は34.6%であった。

〔満足度の平均値〕



〔不満を感じていない人の割合の平均値〕



※「満足度の平均値」「不満を感じていない人の割合の平均値」とも、戦略を構成する施策の回答結果の平均値であり、各戦略そのものの満足度、割合ではない。